

令和2年定例会
予算決算常任委員会 環境生活農林水産分科会
説明資料

(議案補充説明)

1	令和2年度当初予算関係議案について	1
	〔議案第2号「令和2年度三重県一般会計予算」(関係分) 議案第8号「令和2年度三重県就農施設等資金貸付事業等特別会計予算」 議案第9号「令和2年度三重県地方卸売市場事業特別会計予算」 議案第10号「令和2年度三重県林業改善資金貸付事業特別会計予算」 議案第11号「令和2年度三重県沿岸漁業改善資金貸付事業特別会計予算」	
2	令和元年度補正予算関係議案について	34
	〔議案第72号「令和元年度三重県一般会計補正予算(第9号)」(関係分) 議案第78号「令和元年度三重県就農施設等資金貸付事業等特別会計補正予算(第2号)」 議案第79号「令和元年度三重県地方卸売市場事業特別会計補正予算(第2号)」 議案第80号「令和元年度三重県林業改善資金貸付事業特別会計補正予算(第2号)」 議案第81号「令和元年度三重県沿岸漁業改善資金貸付事業特別会計補正予算(第2号)」	
3	議案第31号「三重県手数料条例の一部を改正する条例案」(関係分)	40
4	議案第33号「三重県家畜保健衛生所手数料条例の一部を改正する条例案」	43
5	その他議案について	46
	〔議案第61号「農林水産関係建設事業に対する市町の負担について」 議案第89号「農林水産関係建設事業に対する市町の負担について」	

(所管事項説明)

1	「三重県における補助金等の基本的な在り方等に関する条例」に基づく報告 について	別添
---	--	----

令和2年3月
農林水産部

1 令和2年度当初予算関係議案について

令和2年度当初予算のポイント・主要事業

1 予算編成にあたっての基本的な考え方

本県の農林水産業を取り巻く環境は、人口減少に伴うマーケットの縮小や、TPP11、日欧EPA、日米貿易協定の発効による食のグローバル化の進展、農林漁業者の減少と高齢化の進行などを背景として、生産物価格の低迷や国内外の産地間競争の激化、担い手の不足など、依然として厳しい状況が続いています。

さらに、昨年はCSFやアコヤガイのへい死等の発生、台風や豪雨による自然災害の頻発など、県民の安全・安心な暮らしを脅かす事象に直面しており、こうした課題への対応が急務となっています。

一方で、本年に開催される東京2020オリンピック・パラリンピックを契機とした県産食材等の国内外への新たな販路拡大や、インバウンドの拡大、AI等のICTやロボット、センシングなどの「Society5.0」を支える先端技術を活用したスマート化の進展、「SDGs」の多様で包容力ある持続可能な社会の実現という考え方の広がりなどが農林水産業の発展に向けた追い風となることも期待されます。

こうした情勢の変化に的確に対応し、農林水産業を次の世代に確実に継承していくため、農林水産部では、生産体制・生産基盤の強化をベースとして、新たな販路開拓、多様な担い手の確保・育成、農山漁村の振興などを「オール三重」で展開するとともに、CSFやアコヤガイのへい死等に対して、引き続き、生産者に寄り添いしっかりと対応を進めるなど、「持続可能なもうかる農林水産業」の実現に向けて取組を加速していきます。

また、大規模自然災害や、近い将来の発生が危惧される南海トラフ地震に備えて、県民の皆さんの「命」と「安全・安心」を守るための防災・減災対策をより一層推進していきます。

こうした認識のもと、令和2年度当初予算においては、以下の3項目について重点的に取り組めます。

2 主な重点項目

(1) 「持続可能なもうかる農林水産業」の実現に向けて ～農林水産業の競争力強化～

農林水産業の持続的な成長と競争力強化を支える生産体制・生産基盤の整備、東京2020オリンピック・パラリンピックを契機とした新たな販路開拓支援、産業や地域を支える多様な担い手の確保・育成、農業・農村の有する多面的機能や豊かな自然を生かした農山漁村の振興などの取組を総合的に展開します。

生産体制・生産基盤の整備について、農業では新たなマーケットに対応した米づくりや優良種子の安定供給、担い手への農地集積と農地の大区画化・用水路のパイプライン化、獣害対策の強化などに取り組むとともに、林業では造林・間伐の促進や林道整備、航空レーザ測量による森林情報基盤整備、森林経営管理制度の円滑な実施に向けた市町のサポートなどに、水産業では科学的根拠に基づく精度の高い資源評価の実施、漁場形成のための浮魚礁の設置や藻場の造成などに取り組めます。

新たな販路開拓支援では、東京2020オリンピック・パラリンピックを契機とした県産食材の戦略的プロモーションやノウフク商品の販路開拓、県産材の情報発信や公共施設の木造・木質化などに取り組みます。

多様な担い手の確保・育成では、みえ農業版MBA養成塾やみえ森林・林業アカデミー、漁師塾を通じた次代を担う人材育成とともに、若者の県内定着や働き方改革に向けた農林水産業のスマート化に取り組みます。

農山漁村の振興では、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮に向けた地域の共同活動の支援や中山間地域等の生活環境の整備、自然体験活動やナショナルパークを核とする誘客の促進に取り組みます。

【主な事業】

[担当課 電話 224(局番共通)-内線番号]

《生産体制・生産基盤の整備》

三重の水田農業構造改革総合対策事業	予算額	331,945千円	[農産園芸課 2547]
農地中間管理機構事業	予算額	165,769千円	[担い手支援課 2354]
高収益型畜産連携体育成事業	予算額	468,173千円	[畜産課 2541]
高度水利機能確保基盤整備事業	予算額	1,469,760千円	[農業基盤整備課 2556]
		(2,591,785千円 ※R元年度2月補正予算含みベース)	
造林事業	予算額	437,628千円	[森林・林業経営課 2564]
林道事業	予算額	415,871千円	[治山林道課 2573]
		(457,871千円 ※R元年度2月補正予算含みベース)	
林業・木材産業構造改革事業	予算額	282,635千円	[森林・林業経営課 2564]
森林情報基盤整備事業	予算額	147,243千円	[森林・林業経営課 2564]
新たな森林経営管理体制支援事業	予算額	42,729千円	[森林・林業経営課 2564]
ICTを活用した新たな資源管理システム構築事業	予算額	3,849千円	[漁業環境課 2582]
広域漁場整備事業	予算額	157,500千円	[水産基盤整備課 2598]
海女漁業等環境基盤整備事業	予算額	467,100千円	[水産基盤整備課 2598]
獣害につよい地域づくり推進事業	予算額	311,212千円	[獣害対策課 2017]

《新たな販路開拓支援》

東京オリ・パラを契機としたみえの食材イノベーション事業	予算額	1,965千円	[フードイノベーション課 2391]
ノウフク・ブランド確立支援事業	予算額	8,941千円	[担い手支援課 2354]
(一部新)「もっと県産材を使おう」推進事業	予算額	4,346千円	[森林・林業経営課 2564]

《多様な担い手の確保・育成》

三重の農業若き匠の里プロジェクト総合対策事業	予算額	7,168千円	[担い手支援課 2354]
みえ森林・林業アカデミー運営事業	予算額	46,923千円	[森林・林業経営課 2564]
(新)みえ森林・林業アカデミー拠点整備事業	予算額	19,616千円	[森林・林業経営課 2564]
<事業実施期間：令和2年度～令和4年度>			
水産業・漁村を支える担い手の確保育成事業	予算額	167千円	[水産資源・経営課 2522]
農業のスマート化促進事業	予算額	4,500千円	[担い手支援課 2354]
魚類養殖におけるAI・ICT技術導入促進事業	予算額	1,800千円	[水産資源・経営課 2522]

《農山漁村の振興》

中山間地域等直接支払事業	予算額 217,160千円	[農山漁村づくり課 2551]
多面的機能支払事業	予算額 1,103,864千円	[農山漁村づくり課 2551]
県営中山間地域総合整備事業	予算額 458,650千円	[農山漁村づくり課 2551]
	(909,650千円 ※R元年度2月補正予算含みベース)	
三重まるごと自然体験展開事業	予算額 12,557千円	[農山漁村づくり課 2551]
自然公園ナショナルパーク化促進事業	予算額 75,595千円	[みどり共生推進課 2513]

◎CSF及びアコヤガイへい死等への対応

～安全・安心で持続可能な養豚、真珠・カキ養殖業へ～

農場におけるCSFの発生防止に向け、飼養豚へのワクチン接種や野生イノシシの捕獲強化などの感染拡大防止対策、きめ細かな経営支援対策、風評被害対策の大きく3つの対策を進めます。また、アコヤガイのへい死等について、ICTを活用した漁場環境の情報提供や原因究明等の被害軽減対策、稚貝の種苗生産等の養殖業者の経営支援対策に取り組みます。

CSFへの対応では、農場の巡回や立入検査等の監視指導の強化、予防的ワクチンの接種、家畜保健衛生所の機器メンテナンスや効率的な野生イノシシのCSF検査の実施、県が主体となった野生イノシシの捕獲強化とともに、農業者の経営再建などに向けた資金借入に対する利子補給、正確かつ効果的な情報発信やPR活動による風評被害の防止等に取り組みます。

アコヤガイのへい死等への対応では、ICTブイによる漁場環境のデータ提供や適正養殖管理マニュアルの普及、原因究明に向けた飼育及び感染試験などの被害軽減対策と、県栽培漁業センターでのアコヤガイ稚貝の種苗生産、県産アコヤガイ・カキの天然採苗試験や真珠・カキの高付加価値化に向けた技術開発、被害を受けた養殖業者の資金借入に対する利子補給などの経営支援対策に取り組みます。

《CSFへの対応》

家畜衛生防疫事業	予算額 375,718千円 (うち339,988千円)	[畜産課 2541]
家畜衛生危機管理体制維持事業	予算額 123,215千円 (うち117,908千円)	[畜産課 2541]
(新) 野生イノシシ捕獲強化事業	予算額 40,500千円	[獣害対策課 2017]
<事業実施期間：令和2年度～令和4年度>		
農業経営近代化資金融通事業	予算額 59,989千円の内数	[担い手支援課 2354]
食の安全・安心確保推進事業	予算額 2,167千円 (うち699千円)	[農産物安全・流通課 2497]
中小家畜経営対策事業	予算額 7,932千円 (うち4,202千円)	[畜産課 2541]
みえジビエの消費拡大に向けた「みえモデル」構築事業	予算額 17,118千円 (うち13,200千円)	[フードイノベーション課 2391]

《アコヤガイへい死等への対応》

[水産資源・経営課 2522]

真珠養殖におけるAI・ICTを活用したスマート化促進事業 予算額 5,994千円

(新) 環境調和型真珠養殖システム構築事業 予算額 2,703千円

<事業実施期間：令和2年度～令和4年度>

種苗生産推進事業 予算額 62,705千円 (うち6,250千円)

水産業技術高度化研究開発推進事業 予算額 33,003千円 (うち8,700千円)

漁業近代化資金融通事業 予算額 70,086千円の内数

(2) 若者等が夢や希望が持てる三重の農林水産新時代に向けて ～特定政策課題枠等～

一人ひとりが輝き、やりがいを感じることができる魅力的な三重の農林水産業を創出し、若者等が夢や希望を持って安心して働けるよう、「包容力・多様性」、「未来への希望」、「挑戦」の3つの取組方向に注力し、施策を総合的に展開します。

「包容力・多様性」を大切にする三重をめざして、多様な人材を農業経営体とマッチングするモデルの構築、生きづらさ等を感じている若者を対象とした就農体験や、ワンストップ窓口の設置など、新たな視点を加えた農林水産業と福祉分野のさらなる連携の促進、高齢者等でも活躍できるユニバーサル水産業のモデル構築などに取り組みます。

「未来への希望」を大切にする三重をめざして、データサイエンスに基づくスマートフードチェーンシステムの構築、農林水産物の情報発信や水産業のスマート化、ノリ養殖における環境に適応した養殖手法の開発などに取り組みます。

「挑戦」を大切にする三重をめざして、海外に拠点を持つ旅行事業者等と連携した海外市場の販路開拓、アジア経済圏での農林水産品の輸出促進、自然環境キャンプを通じた子どもたちの健全な心身の育成や森を育む人づくり、「自然体験」と「食」、「泊」を組み合わせたインバウンド向けのモニターツアーの実施などに取り組みます。

【主な事業】

《「包容力・多様性」を大切にする三重をめざして》

(新) 次代の農業を創る多様な働き方総合推進事業 予算額 3,950千円 [担い手支援課 2354]

<事業実施期間：令和2年度～令和3年度>

(新) 農福連携「福」の広がり創出促進事業 予算額 6,137千円 [担い手支援課 2354]

<事業実施期間：令和2年度～令和4年度>

(一部新) 農福連携ネットワーク形成・強化事業 予算額 8,335千円 [担い手支援課 2354]

ノウフク就労支援円滑化地域モデル構築事業 予算額 3,074千円 [担い手支援課 2354]

林福連携による新たな雇用創出促進事業 予算額 471千円 [森林・林業経営課 2564]

水福連携による次世代型水産業モデル構築事業 予算額 692千円 [水産資源・経営課 2522]

(新) 「ユニバーサル水産業」による持続可能な漁村構築事業

予算額 3,480千円 [水産資源・経営課 2522]

<事業実施期間：令和2年度～令和4年度>

(新) 海女による豊かな海づくり事業 予算額 4,438千円 [水産資源・経営課 2522]

<事業実施期間：令和2年度～令和4年度>

《「未来への希望」を大切にす三重をめざして》

(新) みえスマートフードチェーン促進事業 予算額 8,372千円 [フードイノベーション課 2391]

<事業実施期間：令和2年度～令和3年度>

(新) スマート水産業実証体制構築事業 予算額 1,887千円 [水産資源・経営課 2522]

<事業実施期間：令和2年度～令和4年度>

(新) みえの農林水産情報発信スマート化事業 予算額 6,469千円 [フードイノベーション課 2391]

<事業実施期間：令和2年度～令和4年度>

「広がれGAPの輪」推進支援事業 予算額 10,553千円 [農産園芸課 2547]

(新) 県産水産物の品質向上による水産業の成長産業化事業 予算額 926千円

[水産資源・経営課 2522]

<事業実施期間：令和2年度～令和4年度>

(新) 次世代型海藻養殖による豊かな伊勢湾再生事業 予算額4,771千円 [水産資源・経営課 2522]

<事業実施期間：令和2年度～令和4年度>

《「挑戦」を大切にす三重をめざして》

(新) 海外に拠点を持つ旅行事業者等と連携した販路開拓事業 予算額3,790千円

[農産園芸課 2547]

<事業実施期間：令和2年度～令和4年度>

中国等アジア圏に向けた県産材輸出促進事業 予算額 2,112千円 [森林・林業経営課 2564]

アジア経済圏等に向けた県産水産物輸出促進事業 予算額 2,670千円

[水産資源・経営課 2522]

みえ子ども森林・林業アカデミー自然体験事業 予算額 3,570千円 [みどり共生推進課 2513]

森を育む人づくりサポート体制整備事業 予算額 95,823千円 [みどり共生推進課 2513]

(新) 自然体験活動のフィールドを生かした新たな価値協創事業

予算額 8,400千円 [農山漁村づくり課 2551]

<事業実施期間：令和2年度～令和4年度>

(3) 農山漁村地域の防災・減災対策の強化 ～災害に強い地域社会をつくるために～

「記録的短時間大雨情報」が発表された令和元年9月および10月の豪雨、台風第19号など、頻発・激甚化する風水害や土砂災害、南海トラフを震源とする地震等の大規模災害に備えるため、引き続き、国の「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」を活用しつつ、ソフト、ハードの両面から防災・減災対策を強化していきます。

農村地域では、耐震性能の不足や老朽化した農業用ため池の整備とともに、ため池の耐震調査に対する支援やハザードマップを活用した防災訓練の促進、排水機場の耐震対策、農業用ハウスの補強、防風ネットの設置支援等に取り組みます。

山間部では、治山施設の整備や、みえ森と緑の県民税を活用した電線などを寸断する恐れのある樹木の事前伐採、溪流沿いの樹木の伐採・搬出等、災害に強い森林づくりに取り組みます。

海岸部や漁村地域では、海岸堤防の耐震対策や長寿命化計画の策定、耐津波防波堤の整備、拠点漁港における水産業BCPの策定等に取り組みます。

【主な事業】

《農村の防災・減災対策》

県営ため池等整備事業	予算額 1,188,164千円 [農業基盤整備課 2556]
	(1,268,419千円 ※R元年度2月補正予算含みベース)
団体営ため池等整備事業	予算額 200,280千円 [農業基盤整備課 2556]
	(443,830千円 ※R元年度2月補正予算含みベース)
基幹土地改良施設防災機能拡充保全事業	予算額 881,575千円 [農業基盤整備課 2556]
	(1,705,450千円 ※R元年度2月補正予算含みベース)
園芸特産物生産振興対策事業	
(農業用ハウス強靱化緊急対策事業)	予算額 39,000千円 [農産園芸課 2547]

《山地の防災・減災対策》

治山事業	予算額 3,704,563千円 [治山林道課 2573]
	(3,877,063千円 ※R元年度2月補正予算含みベース)
(一部新) みえ森と緑の県民税市町交付金事業	予算額 527,750千円の内数
	[みどり共生推進課 2513]
災害に強い森林づくり推進事業	予算額 380,000千円 [治山林道課 2573]

《海岸・漁村の防災・減災対策》

海岸保全施設整備事業	予算額 288,000千円 [農業基盤整備課 2556]
県営漁港海岸保全事業	予算額 550,250千円 [水産基盤整備課 2598]
県営水産生産基盤整備事業	予算額 851,500千円 [水産基盤整備課 2598]
県営漁港施設機能強化事業	予算額 21,000千円 [水産基盤整備課 2598]
県単漁港改良事業	予算額 30,766千円 [水産基盤整備課 2598]

令和2年度当初予算総括表(農林水産部)

○ 款別総括表

(単位:千円)

区 分	(A)令和元年度 6月補正後予算額	(B)令和2年度 当初予算額	前年度比較 増減(B)-(A)	(B)／(A)
一般会計	(40,527,805)	(39,721,405)	(▲806,400)	(98.0%)
	34,903,043	35,616,261	713,218	102.0%
農林水産業費	(38,130,260)	(37,360,389)	(▲769,871)	(98.0%)
	32,505,498	33,255,245	749,747	102.3%
農業費	(10,797,833)	(10,081,991)	(▲715,842)	(93.4%)
	10,677,577	10,081,991	▲ 595,586	94.4%
畜産業費	(764,448)	(1,182,560)	(418,112)	(154.7%)
	764,448	1,182,560	418,112	154.7%
農地費	(13,999,727)	(13,581,740)	(▲417,987)	(97.0%)
	9,328,733	9,827,885	499,152	105.4%
林業費	(8,060,264)	(8,268,086)	(207,822)	(102.6%)
	7,696,952	8,003,297	306,345	104.0%
水産業費	(4,507,988)	(4,246,012)	(▲261,976)	(94.2%)
	4,037,788	4,159,512	121,724	103.0%
災害復旧費	2,397,545	2,361,016	▲ 36,529	98.5%
農林水産施設災害復旧費	2,397,545	2,361,016	▲ 36,529	98.5%
特別会計	1,236,857	1,284,942	48,085	103.9%
就農施設等資金貸付事業等	99,983	98,684	▲ 1,299	98.7%
地方卸売市場事業	250,338	252,869	2,531	101.0%
林業改善資金貸付事業	566,743	605,376	38,633	106.8%
沿岸漁業改善資金貸付事業	319,793	328,013	8,220	102.6%
合 計	(41,764,662)	(41,006,347)	(▲758,315)	(98.2%)
	36,139,900	36,901,203	761,303	102.1%

○事業別総括表

区 分	(A)令和元年度 6月補正後予算額	(B)令和2年度 当初予算額	前年度比較 増減(B)-(A)	(B)／(A)
一般会計	(40,527,805)	(39,721,405)	(▲806,400)	(98.0%)
	34,903,043	35,616,261	713,218	102.0%
公共事業	(23,126,634)	(22,783,763)	(▲342,871)	(98.5%)
	17,763,374	18,728,908	965,534	105.4%
国補公共事業	(16,966,248)	(16,851,046)	(▲115,202)	(99.3%)
	11,695,688	12,796,191	1,100,503	109.4%
直轄事業	(1,007,001)	(812,008)	(▲194,993)	(80.6%)
	1,007,001	812,008	▲ 194,993	80.6%
県単公共事業	(2,024,140)	(2,239,043)	(214,903)	(110.6%)
	2,024,140	2,239,043	214,903	110.6%
受託公共事業	(731,700)	(520,650)	(▲211,050)	(71.2%)
	639,000	520,650	▲ 118,350	81.5%
災害復旧事業	(2,397,545)	(2,361,016)	(▲36,529)	(98.5%)
	2,397,545	2,361,016	▲ 36,529	98.5%
非公共事業	(17,401,171)	(16,937,642)	(▲463,529)	(97.3%)
	17,139,669	16,887,353	▲ 252,316	98.5%

※1 令和元年度6月補正後予算額の上段()は平成30年度2月補正予算含みベース

※2 令和2年度当初予算額の上段()は令和元年度2月補正予算含みベース

「持続可能なもうかる農林水産業」の実現に向けて ～ 農林水産業の競争力強化～

フードイノベーション課	059-224-2391	森林・林業経営課	059-224-2564
担い手支援課	059-224-2354	治山林道課	059-224-2573
農産園芸課	059-224-2547	みどり共生推進課	059-224-2513
畜産課	059-224-2541	水産資源・経営課	059-224-2522
農業基盤整備課	059-224-2556	漁業環境課	059-224-2582
農山漁村づくり課	059-224-2551	水産基盤整備課	059-224-2598
獣害対策課	059-224-2017		

農林水産業の持続的な成長と競争力強化を支える生産体制・生産基盤の整備、東京2020オリンピック・パラリンピックを契機とした新たな販路開拓支援、産業や地域を支える多様な担い手の確保・育成、農業・農村の有する多面的機能や豊かな自然を生かした農山漁村の振興などの取組を総合的に展開します。

※金額はR元年度2月補正予算含みベース

生産体制・生産基盤の整備

【農業】

三重の水田農業構造改革総合対策事業(331,945千円)
 ◎マーケットに対応した水田農業や経営所得安定対策、優良種子の安定供給などに取り組みます。

農地中間管理機構事業(165,769千円)
 ◎担い手への農地集積・集約化を推進し、経営規模の拡大や農地利用の効率化・高度化を促進します。

高収益型畜産連携育成事業(468,173千円)
 ◎畜産経営体を核とした関連事業者との高収益型畜産連携育成を進め家畜飼養管理施設等の整備を支援します。

高度水利機能確保基盤整備事業(2,591,785千円)
 ◎農地の大区画化・用水路のパイプライン化等、農業生産基盤の計画的整備に取り組みます。



水田フル活用による麦作振興



ロボット導入による省力化

【林業】

造林事業(437,628千円) 林道事業(457,871千円)
 ◎植栽、間伐等の森林整備や獣害防護柵の設置等に対して支援するとともに、林道の開設や改良等に取り組みます。

林業・木材産業構造改革事業(282,635千円)
 ◎搬出間伐や森林作業道の整備、高性能林業機械の導入などを支援します。

森林情報基盤整備事業(147,243千円)
 ◎航空レーザ測量による森林資源等の詳細な情報を取得し、整備が必要な森林の把握等を行います。

新たな森林経営管理体制支援事業(42,729千円)
 ◎森林経営管理制度の円滑な実施に向け、アドバイザーの増員など市町への支援体制を充実します。



林道の整備



高性能林業機械の導入



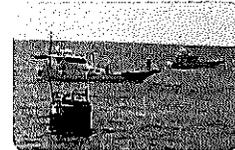
航空レーザ測量

【水産業】

ICTを活用した新たな資源管理システム構築事業(3,849千円)
 ◎科学的根拠に基づく精度の高い資源評価を実施し、漁業者にフィードバックする仕組みを構築します。

広域漁場整備事業(157,500千円)
 ◎カツオ等の回遊性魚類の漁場を形成するための浮魚礁を設置します。

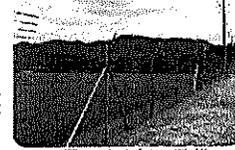
海女漁業等環境基盤整備事業(467,100千円)
 ◎海女漁業等の漁業生産力の向上や漁場改善に向けた藻場造成を実施します。



浮魚礁の設置

**【獣害対策】
 獣害につよい地域づくり推進事業(311,212千円)**

◎侵入防止柵の整備や有害鳥獣捕獲活動等を支援します。



侵入防止柵の整備

新たな販路開拓支援

東京オリ・パラを契機としたみえの食材イノベーション事業(1,965千円)

◎首都圏での三重県フェアやPRイベント等における県産食材の情報発信やプロモーションを実施します。

ノウフク・ブランド確立支援事業(8,941千円)

◎ノウフク商品の開発支援とともに、ノウフク・マルシェを活用した販路開拓等を実施します。

(一部新)「もっと県産材を使おう」推進事業(4,346千円)

◎「三重の木」認証材等の情報発信とともに、木造・木質化の相談窓口の設置や県施設の木質化を進めます。



女子ラグビー全国大会での食材PR



公共施設の木造・木質化

多様な担い手の確保・育成

三重の農業若き匠の里プロジェクト総合対策事業(7,168千円)

みえ森林・林業アカデミー運営事業(46,923千円)

(新)みえ森林・林業アカデミー拠点整備事業(19,616千円)

水産業・漁村を支える担い手の確保育成事業(167千円)

◎みえ農業版MBA養成塾やみえ森林・林業アカデミー、漁師塾を通じた次代を担う農林水産業の人材育成に取り組みます。

農業のスマート化促進事業(4,500千円)

魚類養殖におけるAI・ICT技術導入促進事業(1,800千円)

◎若者の県内定着に向けて、生産技術の見える化や作業の自動化・効率化、所得向上等につながるスマート化を進めます。



森林・林業アカデミーでの技術研修



ICTを活用した圃場管理

農山漁村の振興

中山間地域等直接支払事業(217,160千円)

多面的機能支払事業(1,103,864千円)

◎中山間地域等における生産条件の不利性を補正する直接支払の実施や、農業・農村の多面的機能の維持・発揮に向けた地域の共同活動の支援に取り組みます。

県営中山間地域総合整備事業(909,650千円)

三重まるごと自然体験展開事業(12,557千円)

自然公園ナショナルパーク化促進事業(75,595千円)



共同作業による除草



カヤックでの自然体験

CSF及びアコヤガイへい死等への対応

～ 安全・安心で持続可能な養豚、真珠・カキ養殖業へ～

CSF対策チーム	059-224-2027	畜産課	059-224-2541
フードイノベーション課	059-224-2391	獣害対策課	059-224-2017
担い手支援課	059-224-2354	水産資源・経営課	059-224-2522
農産物安全・流通課	059-224-2497		

農場におけるCSFの発生防止に向け、飼養豚へのワクチン接種や野生イノシシの捕獲強化などの感染拡大防止対策、きめ細かな経営支援対策、風評被害対策の大きく3つの対策を進めます。また、アコヤガイのへい死等について、ICTを活用した漁場環境の情報提供や原因究明等の被害軽減対策、稚貝の種苗生産等の養殖業者の経営支援対策に取り組みます。

CSFへの対応

感染拡大防止対策

家畜衛生防疫事業(375,718千円のうち、339,988千円)

◎定期巡回や立入検査等による監視指導を強化するとともに、飼養豚に対する予防的ワクチンの接種や迅速な防疫措置に向けた体制の強化を図ります。

家畜衛生危機管理体制維持事業(123,215千円のうち、117,908千円)

◎家畜保健衛生所の設備・備品の設置およびメンテナンスを行うとともに、野生イノシシの調査捕獲やCSF検査を効率的・効果的に実施します。

(新)野生イノシシ捕獲強化事業(40,500千円)

◎CSFの感染源と考えられている野生イノシシの捕獲活動への支援に取り組むとともに、県が主体となって捕獲強化を図ります。

経営支援対策及び風評被害対策

農業経営近代化資金融通事業(59,989千円の内数)

◎農業者の経営再建などに向けた取組を支援するため、利子補給措置等を講じます。

食の安全・安心確保推進事業(2,167千円のうち、699千円)

◎CSF等を含めた食の安全・安心に関する正しい知識と理解を深め、判断、選択を行えるよう情報提供の充実を図ります。

中小家畜経営対策事業(7,932千円のうち、4,202千円)

◎CSF等家畜伝染病の発生による畜産物への風評被害の未然防止対策や、消費喚起に向けたマッチング交流会や量販店でのキャンペーン等に取り組めます。

みえジビエの消費拡大に向けた「みえモデル」構築事業

(17,118千円のうち、13,200千円)

◎事業者と連携した商品開発や販路拡大を進めるとともに、野生イノシシの簡便かつ適正なCSF検査方法を検証するなど、みえジビエのさらなる安全性や品質の確保に取り組めます。



飼養豚へのワクチン接種



野生イノシシの捕獲強化



マッチング交流会の開催

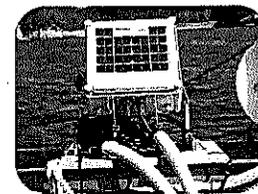
アコヤガイへい死等への対応

被害軽減に向けた対策

真珠養殖におけるAI・ICTを活用したスマート化

促進事業(5,994千円)

◎優良技術の継承や真珠の生産性の向上のための技術開発に取り組むとともに、ICTブイによる漁場環境の情報提供や適正養殖管理マニュアルの普及を図ります。



ICTブイによる情報提供

(新)環境調和型真珠養殖システム構築事業

(2,703千円)

◎漁場におけるアコヤガイの飼育試験や感染症の試験など、大量へい死の原因究明に取り組めます。



マニュアル普及研修会の開催

経営支援対策

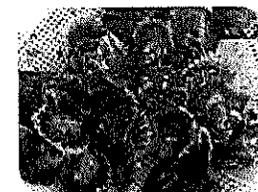
種苗生産推進事業(62,705千円のうち、6,250千円)

◎へい死等への緊急対策として、三重県水産振興事業団と連携し、アコヤガイ稚貝の種苗生産と供給を行います。

水産業技術高度化研究開発推進事業

(33,003千円のうち、8,700千円)

◎養殖業者の経営安定に向け、生残率や真珠の品質に優れたアコヤガイの生産技術の開発、県産アコヤガイ・カキの天然採苗試験、高付加価値なカキのシングルシード種苗採取の技術開発や養殖マニュアルの作成等に取り組めます。



アコヤガイ稚貝の種苗生産

(新)環境調和型真珠養殖システム構築事業

(2,703千円)【再掲】

◎真珠養殖廃棄物をコンポスト(堆肥)等として活用する仕組みづくりと併せて、県産真珠のPRを海外で展開します。



海外での県産真珠のPR

漁業近代化資金融通事業(70,086千円の内数)

◎アコヤガイやカキの大量へい死等の被害を受けた養殖業者が融資を受ける際に、融資機関等に対して利子補給等を行います。

若者等が夢や希望が持てる三重の農林水産新時代に向けて

【特定政策課題枠等】

フードイノベーション課	059-224-2391
担い手支援課	059-224-2354
農産園芸課	059-224-2547
農山漁村づくり課	059-224-2551
森林・林業経営課	059-224-2564
みどり共生推進課	059-224-2513
水産資源・経営課	059-224-2522

一人ひとりが輝き、やりがいを感じることができる魅力的な三重の農林水産産業を創出し、若者等が夢や希望を持って安心して働けるよう、「包容力・多様性」、「未来への希望」、「挑戦」の3つの取組方向に注力し、施策を総合的に展開します。

「包容力・多様性」を大切にす三重をめざして

(新) 次代の農業を創る多様な働き方総合推進事業(3,950千円)

◎多様な人材の確保・育成や、その人材を農業経営体等とマッチングする仕組みを構築するとともに、新たなビジネスに挑戦する経営体を育成します。

【担い手支援課】



子育て世代の主婦によるコラボワーク

(新) 農福連携「福」の広がり創出促進事業(6,137千円)

◎生きづらさや働きづらさを感じている若者等を対象とした就農体験等を進めます。

【担い手支援課】



農福連携の加速化を宣言

(一部新) 農福連携ネットワーク形成・強化事業(8,335千円)

◎農福連携の効果の検証や発信により、さらなるステップアップにつなげるとともに、ワンストップ窓口を設置し、県内の推進体制を強化します。

【担い手支援課】

ノウフク就労支援円滑化地域モデル構築事業(3,074千円) 【担い手支援課】

林福連携による新たな雇用創出促進事業(471千円) 【森林・林業経営課】

水福連携による次世代型水産業モデル構築事業(692千円) 【水産資源・経営課】

◎農林水産分野への福祉事業所のさらなる参入促進や、農林漁業者とのマッチングの支援体制づくり、指導者の人材育成等に取り組みます。

(新)「ユニバーサル水産業」による持続可能な漁村構築事業(3,480千円)

◎高齢漁業者等へのパワードスーツ等のロボット技術導入効果の評価・検証、利用促進に向けた情報発信等に取り組みます。

(新)海女による豊かな海づくり事業(4,438千円)

◎海女による藻場管理の仕組みづくりやアワビ養殖、環境変化に対応したアワビ種苗生産、海女漁獲物の魅力向上に取り組みます。

【水産資源・経営課】



パワードスーツ等



海女漁業の魅力発信

「未来への希望」を大切にす三重をめざして

(新) みえスマートフードチェーン促進事業(8,372千円)

◎生産、加工、流通、販売にいたる、さまざまな事業者が連携して、データサイエンスに基づくスマートフードチェーンシステムの構築を図ります。

【フードイノベーション課】

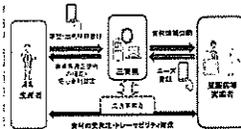


スマートフードチェーンの構築(青ねぎ)

(新) スマート水産業実証体制構築事業(1,887千円)

◎新技術導入による作業の自動化・効率化など、働き方改革につながるスマート水産業の実現に向けた体制づくりを進めます。

【水産資源・経営課】



食材情報の一括提供

(新) みえの農林水産情報発信スマート化事業(6,469千円)

◎県産農林水産物のデータの見える化と情報発信のスマート化を推進し、みえの食が有する本質的な価値への共感を呼び込み、付加価値向上を図ります。

【フードイノベーション課】

「広がりGAPの輪」推進支援事業(10,553千円)

◎GAP認証の取得・維持を支援し、より一層の普及拡大を図るとともに、GAP農産物の販路拡大につながるPR活動に取り組みます。

【農産園芸課】



県立農業高校による認証取得

(新) 県産水産物の品質向上による水産業の成長産業化事業(926千円)

◎水産資源の持続可能な利用を担保する水産エコラベル認証の取得促進や、品質管理の強化に取り組み、新たな販路の開拓を進めていきます。

【水産資源・経営課】



黒リ養殖の様子

(新) 次世代型海藻養殖による豊かな伊勢湾再生事業(4,771千円)

◎リ養殖業において、大きく変化する漁場環境に適応した養殖手法を開発し、収益性と生産性の向上および安定化を図ります。

【水産資源・経営課】

「挑戦」を大切にす三重をめざして

(新) 海外に拠点を持つ旅行事業者等と連携した販路開拓事業(3,790千円)

◎海外に拠点を持つ旅行事業者等との連携により、現地企業による商品開発等新たな手法を取り入れて海外市場の開拓に取り組みます。

【農産園芸課】



旅行事業者との連携

中国等アジア圏に向けた県産材輸出促進事業(2,112千円)

◎輸出先企業を対象とした県産材製品の説明会等の開催や、新たな県産材製品の販路開拓に取り組みます。

【森林・林業経営課】



活力キノの輸出

アジア経済圏等に向けた県産水産物輸出促進事業(2,670千円)

◎水産物需要の高まっているアジア経済圏を対象に、競争力のある県産水産物の輸出を戦略的に展開していきます。

【水産資源・経営課】

みえ子ども森林・林業アカデミー自然体験事業(3,570千円)

◎子どもたちの健全な心身の育成と森林・林業に関する職業意識の醸成を図るため、自然環境キャンプを実施し、県内への展開を図ります。

【みどり共生推進課】



自然環境キャンプの様子

森を育む人づくりサポート体制整備事業(95,823千円)

◎森林環境教育や木育等の相談窓口となる「みえ森づくりサポートセンター」を運営し、指導者育成を行うほか、広域的・総合的なサポートを行います。

【みどり共生推進課】



訪日外国人の自然体験の促進

(新) 自然体験活動のフィールドを生かした新たな価値協創事業(8,400千円)

◎市町を越えた「自然体験」「食」「泊」の組み合わせによる魅力的なインバウンド向け評価型モニターツアー等を実施します。

【農山漁村づくり課】

農山漁村地域の防災・減災対策の強化 ～災害に強い地域社会をつくるために～

農産園芸課	059-224-2547
農業基盤整備課	059-224-2556
治山林道課	059-224-2573
みどり共生推進課	059-224-2513
水産基盤整備課	059-224-2598

「記録的短時間大雨情報」が発表された令和元年9月および10月の豪雨、台風第19号など、頻発・激甚化する風水害や土砂災害、南海トラフを震源とする地震等の大規模災害に備えるため、引き続き、国の「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」を活用しつつ、ソフト、ハードの両面から防災・減災対策を強化していきます。

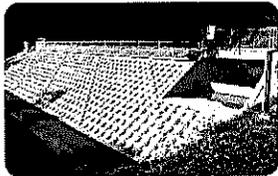
※金額はR元年度2月補正予算合みベース

農村の防災・減災対策

農業用施設等の耐震対策 【農業基盤整備課】
県営ため池等整備事業 (1,268,419千円) (緊)
団体営ため池等整備事業 (443,830千円)

[ハード対策] ◎耐震性能の不足や老朽化した農業用ため池の整備に取り組みます。

[ソフト対策] ◎ため池の耐震調査を支援するとともに、ハザードマップを活用した防災訓練を促進します。



ため池の整備

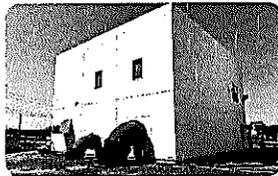


ハザードマップを活用した訓練

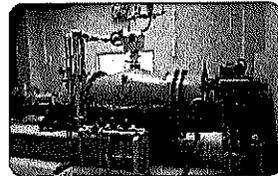
農村の湛水被害対策 【農業基盤整備課】
基幹土地改良施設防災機能拡充保全事業

(1,705,450千円)

◎老朽化した排水機の長寿命化対策や排水機場の耐震対策を実施します。



排水機場の耐震対策



農業用ハウスの強靱化対策 【農産園芸課】
園芸特産物生産振興対策事業
(農業用ハウス強靱化緊急対策事業) (緊) (39,000千円)

◎農業用ハウスの災害防止に向けた技術講習や、既存施設の補強、防風ネットの設置等を支援します。



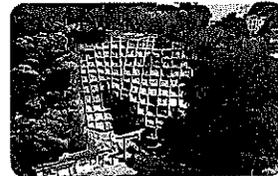
防風対策ネットの設置

山地の防災・減災対策

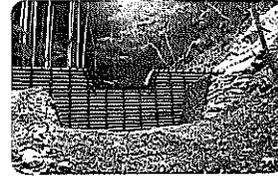
治山施設の整備 【治山林道課】

治山事業 (3,877,063千円) (緊)

◎山地災害の復旧や予防を図る治山施設の整備、公益的機能が低下した保安林の森林整備や老朽化した治山施設の改修等を行います。



山腹法面の復旧



治山ダムの整備

山地災害の未然防止対策

【みどり共生推進課】【治山林道課】

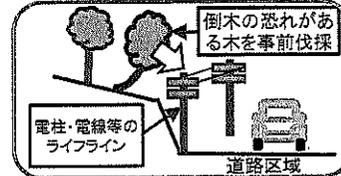
(一部新)みえ森と緑の県民税市町交付金事業

(527,750千円の内数)

◎市町等と連携した面的な森林整備や、台風被害により電線などを寸断する恐れのある樹木の事前伐採に取り組みます。



森林整備



倒木の恐れのある樹木の事前伐採

災害に強い森林づくり推進事業 (380,000千円)

◎流木となる恐れのある溪流沿いの樹木の伐採・搬出、治山施設等に異常に堆積した土砂や流木の撤去等を行います。



整備前



整備後

流木となる恐れのある危険木の除去

海岸・漁村の防災・減災対策

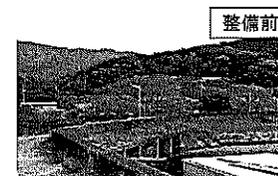
海岸・漁港施設の防災・減災対策

【農業基盤整備課】【水産基盤整備課】

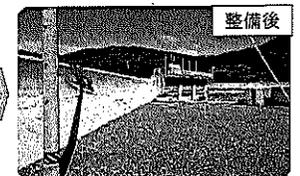
海岸保全施設整備事業 (288,000千円)

県営漁港海岸保全事業 (550,250千円)

◎海岸堤防の耐震対策や長寿命化計画の策定を行います。



整備前



整備後

海岸堤防の耐震対策

県営水産生産基盤整備事業 (851,500千円) (緊)

県営漁港施設機能強化事業 (21,000千円)

◎海岸施設と一体となって津波や高潮等から集落を守る耐津波防波堤等の整備を実施します。



整備前



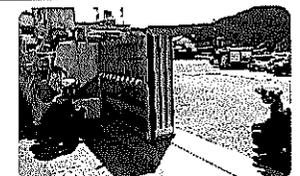
整備後

耐津波防波堤の整備

安全・安心な漁業生産体制づくり【水産基盤整備課】

県単漁港改良事業 (30,766千円)

◎小規模な漁港施設の改良を行うとともに、拠点漁港における水産業BCP(業務継続計画)の策定や訓練の実施に取り組みます。



水産業BCPの訓練

3 その他の主要事業

政策名、施策名及び事業の内容	担当課・ 電話番号
<p>《政策名：暮らしの安全を守る》</p> <p>〈施策名：(147) 獣害対策の推進〉</p> <p>1 獣害対策推進体制強化事業費 13,087千円 【(14701) 地域に応じた獣害対策による被害防止の推進】 (第6款 農林水産業費 第1項 農業費 12 農業経営対策費) 集落ぐるみによる取組を実施するための体制づくりや地域におけるリーダー育成を行うとともに、被害対策の支援となる新技術の開発・実証を行います。</p> <p>2 野生鳥獣捕獲管理事業費 33,990千円 【(14702) 野生鳥獣の生息数管理の推進】 (第6款 農林水産業費 第1項 農業費 12 農業経営対策費) 野生鳥獣の捕獲の適正化を図るため、鳥獣保護管理員による狩猟の取締りや指導および狩猟免許試験や更新時講習、指定管理鳥獣の捕獲などを実施します。</p> <p>3 野生鳥獣生息管理事業費 1,913千円 【(14702) 野生鳥獣の生息数管理の推進】 (第6款 農林水産業費 第1項 農業費 12 農業経営対策費) 第12次鳥獣保護管理事業計画および第二種特定鳥獣管理計画の進捗管理等を行います。また、これら計画に基づいた鳥獣保護区等の指定やニホンジカ等のモニタリング調査など、野生鳥獣の生息数管理を進めます。</p>	<p>獣害対策課 (224-2017)</p> <p>獣害対策課 (224-2017)</p> <p>獣害対策課 (224-2017)</p>

政策名、施策名及び事業の内容	担当課・ 電話番号
<p>《政策名：環境を守る》</p> <p>〈施策名：(153) 豊かな自然環境の保全と活用〉</p> <p>1 (一部新) 野生生物保護事業費 5,542千円 【(15301) 貴重な生態系と生物多様性の保全】 (第6款 農林水産業費 第4項 林業費 11 野生生物共生費) 生物多様性の保全を推進し、生態系ネットワークの形成を促進するため、保全活動や普及啓発、アドバイザーの派遣などによる人材育成に取り組みます。また、貴重な自然環境の保全や野生生物の保護を図るため、自然環境保全指導員による巡視活動や傷病野生鳥獣の救護等を行うほか、死亡野鳥等の高病原性鳥インフルエンザウイルスの保有状況調査を実施します。</p> <p>2 自然環境保全対策事業費 84千円 【(15301) 貴重な生態系と生物多様性の保全】 (第6款 農林水産業費 第4項 林業費 12 自然公園費) 豊かな自然を将来にわたって維持していくため、国定公園および県立自然公園の適正な保全等を行います。また、自然公園等において、生態系の維持・回復が必要な地域の調査や対策に関係者と協力して取り組みます。</p> <p>3 自然公園利用促進事業費 17,334千円 【(15302) 自然とのふれあいの促進】 (第6款 農林水産業費 第4項 林業費 12 自然公園費) 県民の自然とのふれあいを促進するため、東海および近畿自然歩道や登茂山園地、大杉谷登山歩道など自然公園施設等の適切な維持管理を行います。</p> <p>4 森林公園利用促進事業費 51,775千円 【(15302) 自然とのふれあいの促進】 (第6款 農林水産業費 第4項 林業費 8 緑化対策費) 森林環境教育や自然とのふれあいの場の拠点施設として、「三重県民の森」および「三重県上野森林公園」の適切な維持管理を行うとともに、利用者のニーズにあわせたイベント等を開催し、利用の増進を図ります。</p>	<p>みどり共生推進課 (224-2513)</p> <p>みどり共生推進課 (224-2513)</p> <p>みどり共生推進課 (224-2513)</p> <p>みどり共生推進課 (224-2513)</p>

政策名、施策名及び事業の内容	担当課・ 電話番号
<p>5 自然に親しむ施設整備事業費 48,148千円</p> <p>【(15302) 自然とのふれあいの促進】</p> <p>(第6款 農林水産業費 第4項 林業費 12自然公園費)</p> <p>利用者が、優れた自然環境や自然景観に親しむことができるよう、国立・国定公園および長距離自然歩道において、適切かつ安全な利活用を促進するための施設整備を行います。</p>	<p>みどり共生推進課</p> <p>(224-2513)</p>

政策名、施策名及び事業の内容	担当課・電話番号
<p>《政策名：地域の活力の向上》</p> <p>〈施策名：(253) 農山漁村の振興〉</p> <p>1 中山間地農業ルネッサンス推進事業費 3,000千円 【(25301) 人や産業が元気な農山漁村づくり】 (第6款 農林水産業費 第1項 農業費 4 農業振興費) 収益力向上や担い手の確保など、中山間地域農業の抱える課題を解決するため、地域農業の特色を生かした多様な取組の実践につなげるための人材育成や、モデル事例の普及促進に取り組みます。</p> <p>2 農業環境価値創出事業費 20,310千円 【(25302) 農山漁村の有する多面的機能の維持・発揮】 (第6款 農林水産業費 第1項 農業費 12 農業経営対策費) 有機農業やIPM(総合的病害虫防除)など、環境にやさしい農業への取組を支援するとともに、有機JAS認証制度等に係る指導人材の育成などに取り組みます。</p> <p>3 基幹農業水利施設ストックマネジメント事業費 485,148千円 (956,298千円 ※R元年度2月補正予算含みベース) 【(25303) 安全・安心な農村づくり】 (第6款 農林水産業費 第3項 農地費 2 土地改良費) 老朽化が進んでいる農業水利施設の機能保全を図るため、長寿命化および適切な予防保全対策を実施します。</p>	<p>担い手支援課 (224-2354)</p> <p>農産園芸課 (224-2547)</p> <p>農業基盤整備課 (224-2556)</p>

政策名、施策名及び事業の内容	担当課・ 電話番号
<p>《政策名：持続可能なもうかる農林水産業》</p> <p>〈施策名：(311) 農林水産業の多様なイノベーションの促進とブランド力の向上〉</p> <p>1 みえフードイノベーション総合推進事業費 72,519千円 【(31101) 新価値創出と戦略的プロモーションの展開】 (第6款 農林水産業費 第1項 農業費 4 農業振興費) 「みえフードイノベーション」のさらなる拡大を図るとともに、ネットワーク活動を通じた県産農林水産物の活用促進に取り組みます。また、6次産業化サポートセンターにより、6次産業化に取り組む意欲ある生産者等への支援を実施します。</p> <p>2 植物工場実証パイロット事業費 7,943千円 【(31102) 農林水産技術の研究開発と移転】 (第6款 農林水産業費 第1項 農業費 14 農業試験研究費) 農業研究所に設置した太陽光利用型植物工場において、県内野菜生産額の多いトマト、イチゴについて、低コスト化、周年栽培の実証を行うとともに、実証技術を普及・拡大させるための人材育成に取り組みます。</p> <p>3 農業技術高度化研究開発推進事業費 195,676千円 【(31102) 農林水産技術の研究開発と移転】 (第6款 農林水産業費 第1項 農業費 14 農業試験研究費) 国等から交付される競争的研究資金を活用し、他の公設試験研究機関等と連携しながら、県内農業の振興に生かすことができる高度な技術を開発するための研究やスマート農業技術の実証に取り組みます。</p> <p>4 畜産業技術高度化研究開発推進事業費 2,800千円 【(31102) 農林水産技術の研究開発と移転】 (第6款 農林水産業費 第2項 畜産業費 3 畜産業試験研究費) 国等から交付される競争的研究資金を活用し、他の公設試験研究機関等と連携しながら、県内畜産業の振興に生かすことができる高度な技術を開発するための研究に取り組みます。</p>	<p>フードイノベーション課 (224-2391)</p> <p>担い手支援課 (224-2354)</p> <p>担い手支援課 (224-2354)</p> <p>担い手支援課 (224-2354)</p>

政策名、施策名及び事業の内容	担当課・ 電話番号
<p>5 林業技術開発事業費 6,350千円 【(31102) 農林水産技術の研究開発と移転】 (第6款 農林水産業費 第4項 林業費 10 林業試験研究費) 国等から交付される競争的研究資金を活用し、他の公設試験研究機関等と連携しながら、県内森林・林業・木材産業の振興に生かすことができる高度な技術を開発するための研究に取り組みます。</p>	<p>森林・林業経営課 (224-2564)</p>
<p>6 戦略的ブランド化推進事業費 2,337千円 【(31103) ブランド力向上の推進】 (第6款 農林水産業費 第1項 農業費 2 農林水産振興費) 特に優れた県産品とその事業者を三重ブランドとして認定し情報発信するとともに、ブランド化を進める人材の育成に取り組み、県産農林水産物のイメージアップとブランド力向上を図ります。</p>	<p>フードイノベーション課 (224-2391)</p>
<p>7 食で生み出す絆づくり・輪づくり推進事業費 4,148千円 【(31103) ブランド力向上の推進】 (第6款 農林水産業費 第1項 農業費 2 農林水産振興費) 「第3次三重県食育推進計画」に基づき、さまざまな関係団体等と連携し、食育に関する情報発信や地域における食育活動、学校給食への地場産物活用等の促進に取り組むとともに、消費者に対して地域の持続可能な農業生産に向けた生産者の取組についての普及啓発や地産地消活動の促進に努めます。</p>	<p>フードイノベーション課 (224-2391)</p>
<p>8 畜産農場認証制度等導入推進事業費 2,438千円 【(31104) 農林水産業の国際認証取得の促進と活用】 (第6款 農林水産業費 第2項 畜産業費 1 畜産振興費) 農場HACCPやJGAP家畜・畜産物等畜産農場にかかる認証の取得をサポートできる指導員を育成するとともに、指導員を核とした地域推進チームによる個別の指導を通じ、生産者の認証取得を支援します。</p>	<p>畜産課 (224-2541)</p>

政策名、施策名及び事業の内容	担当課・ 電話番号
<p>〈施策名：(312) 農業の振興〉</p> <p>1 産地パワーアップ事業費 40,798千円 【(31201) 持続可能なもうかる農業の実現】 (第6款 農林水産業費 第1項 農業費 6農作物対策費) 地域農業再生協議会が策定した産地パワーアップ計画に基づき、農業者や農業者団体による高収益な栽培体系への転換や共同利用施設の機能向上等の取組を支援します。</p> <p>2 スマート農業果樹産地導入モデル整備事業費 1,275千円 【(31201) 持続可能なもうかる農業の実現】 (第6款 農林水産業費 第1項 農業費 6農作物対策費) 県南部のかんきつ産地において、スマート農業を導入するための園地整備方針や再整備するエリア等を検討し、園地再整備の基礎となる圃場条件等を調査します。</p> <p>3 卸売市場流通対策事業費 129,019千円 【(31201) 持続可能なもうかる農業の実現】 (第6款 農林水産業費 第1項 農業費 6農作物対策費) 卸売市場法および三重県卸売市場条例に基づき、県内卸売市場の指導・監督を行うとともに、三重県地方卸売市場の円滑で健全な運営を確保するため、計画的な施設整備等を行います。</p> <p>4 みえの畜産物供給体制確立事業費 8,707千円 【(31202) 持続可能なもうかる畜産業の実現】 (第6款 農林水産業費 第2項 畜産業費 1畜産振興費) 畜産物への多様な需要に向け、高品質ブランド和牛の生産体制やエコフイード等の利活用によるE C O畜産物供給体制の構築等に取り組みます。</p> <p>5 食肉センター流通対策事業費 94,251千円 【(31202) 持続可能なもうかる畜産業の実現】 (第6款 農林水産業費 第2項 畜産業費 1畜産振興費) 食肉の安定的な流通を確保するため、県内の基幹食肉処理施設の運営や機能充実の取組を支援します。</p>	<p>農産園芸課 (224-2547)</p> <p>農産園芸課 (224-2547)</p> <p>農産物安全・流通課 (224-2497)</p> <p>畜産課 (224-2541)</p> <p>畜産課 (224-2541)</p>

政策名、施策名及び事業の内容	担当課・ 電話番号
<p>6 地域活性化プラン推進事業費 1, 275千円 【(31203) 農業の多様な担い手の確保・育成】 (第6款 農林水産業費 第1項 農業費 4 農業振興費) 地域の農業者をはじめ、さまざまな関係者の創意工夫のもと、農地、景観、文化、人材など地域資源を有効活用する集落や産地等の取組を支援することにより、農産物の高付加価値化や地域の取組の発展、人材の確保・育成等、新たな価値創出につなげます。</p>	<p>担い手支援課 (224-2354)</p>
<p>7 新規就農者総合支援事業費 206, 232千円 【(31203) 農業の多様な担い手の確保・育成】 (第6款 農林水産業費 第1項 農業費 5 農林漁業担い手対策費) 国の「農業人材力強化総合支援事業」の活用により、次世代を担う農業者となることを志向する者に対し、就農前の研修を後押しする資金および就農直後の経営確立を支援する資金を交付し、青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図ります。</p>	<p>担い手支援課 (224-2354)</p>
<p>8 農業経営体育成普及事業費 48, 648千円 【(31203) 農業の多様な担い手の確保・育成】 (第6款 農林水産業費 第1項 農業費 3 農業改良普及費) 農業者の経営発展を促進するため、先進的技術の導入やマーケティング能力の向上、経営改善に向けた支援に取り組むとともに、地域資源を生かした新たな価値の創出や集落営農の推進を図るなど、地域営農体制の構築に向けた普及活動を展開します。</p>	<p>担い手支援課 (224-2354)</p>
<p>9 農用地利用集積特別対策事業費 97, 253千円 【(31203) 農業の多様な担い手の確保・育成】 (第6款 農林水産業費 第1項 農業費 13 農林漁業経営体育成費) 農地中間管理事業等による担い手への農地集積を促進するため、地域における人・農地プランの作成支援や機構集積協力金の交付に取り組みます。また、担い手の経営発展に向け、集落営農の法人化などを支援します。</p>	<p>担い手支援課 (224-2354)</p>
<p>10 農業経営基盤強化促進事業費 188, 307千円 【(31203) 農業の多様な担い手の確保・育成】 (第6款 農林水産業費 第1項 農業費 13 農林漁業経営体育成費) 認定農業者等の育成、農業経営の法人化、集落営農の組織化などの担い手育成対策を総合的に実施するとともに、人・農地プランが策定された地域の中心経営体等に対し、農業用機械・施設等の導入を支援します。</p>	<p>担い手支援課 (224-2354)</p>

政策名、施策名及び事業の内容	担当課・ 電話番号
<p>1 1 県営かんがい排水事業費 937,450千円 (1,085,950千円 ※R元年度2月補正予算含みベース) 【(31204) 強い農業のための基盤づくり】 (第6款 農林水産業費 第3項 農地費 2土地改良費) 農業生産の基礎となる農業用水の確保、適期・適量供給および農地排水の改良を図るため、水田、畑等における基幹的な農業水利施設の整備・更新を行います。</p>	<p>農業基盤整備課 (224-2556)</p>
<p>1 2 団体営災害耕地復旧事業費 1,275,980千円 【(31204) 強い農業のための基盤づくり】 (第11款 災害復旧費 第1項 農林水産施設災害復旧費 1 耕地災害復旧費) 平成30年および令和元年に被災した農地、農業用施設について、市町と連携して早期復旧に取り組みます。</p>	<p>農業基盤整備課 (224-2556)</p>

政策名、施策名及び事業の内容	担当課・ 電話番号
<p>〈施策名：(313) 林業の振興と森林づくり〉</p> <p>1 地域森林計画編成事業費 5,952千円 【(31301) 森林の適正な管理と公益的な機能の発揮】 (第6款 農林水産業費 第4項 林業費 9森林総務費) 地域特性に応じた森林政策の推進目標と森林整備の指針を明らかにするため、4つの森林計画区ごとに地域森林計画を樹立します。また、三重県水源地域の保全に関する条例の普及と適正な執行に努めるほか、森林GISの運用・管理を行います。</p> <p>2 森林環境創造事業費 19,787千円 【(31301) 森林の適正な管理と公益的な機能の発揮】 (第6款 農林水産業費 第4項 林業費 9森林総務費) 森林の有する公益的機能が持続的に発揮されるよう、環境林において森林所有者等が市町と協定を締結した森林を公共財と位置づけ、強度間伐等により針葉樹と広葉樹の混交林へ誘導するなど、市町による森林の適正な管理を促進します。</p> <p>3 特定森林再生事業費 2,701千円 【(31301) 森林の適正な管理と公益的な機能の発揮】 (第6款 農林水産業費 第4項 林業費 5造林費) 自然条件等により、森林所有者の自助努力では更新が困難な森林において、森林所有者と市町が協定を締結し、緊急的に実施される再造林等や、重要インフラ施設に隣接し、台風等の自然災害により被害を及ぼす恐れのある森林について、市町等公的主体が森林所有者及び施設管理者と協定を締結して実施する間伐等を支援します。</p> <p>4 原木安定供給促進事業費 ー千円 (5.0, 289千円 ※R元年度2月補正予算含みベース) 【(31302) 「緑の循環」の推進と県産材の利用の促進】 (第6款 農林水産業費 第4項 林業費 2林業振興指導費) 地域材の競争力強化を図るため、体質強化計画に基づき、合板工場に原木を安定的に供給する事業者が行う間伐材の生産および路網整備等を支援します。</p>	<p>森林・林業経営課 (224-2564)</p> <p>森林・林業経営課 (224-2564)</p> <p>森林・林業経営課 (224-2564)</p> <p>森林・林業経営課 (224-2564)</p>

政策名、施策名及び事業の内容	担当課・ 電話番号
<p>5 森林経営計画作成推進事業費 18,376千円 【(31302)「緑の循環」の推進と県産材の利用の促進】 (第6款 農林水産業費 第4項 林業費 2 林業振興指導費) 森林経営計画作成に必要な、森林組合等による森林情報の収集・整理、立木調査や路網調査、説明会・個別訪問等による合意形成活動のほか、森林境界の明確化の実施に対し支援します。</p>	<p>森林・林業経営課 (224-2564)</p>
<p>6 豊かな森と地域を担う人づくり事業費 2,396千円 【(31303) 林業・木材産業を担う人材の育成】 (第6款 農林水産業費 第4項 林業費 1 林業総務費) 地域の森林資源を有効に活用するため、自伐型林業など多様な主体による林業経営活動を支援するほか、高校生等への就業体験の開催、労働災害の削減に向けた安全衛生指導員の養成や労働現場の巡回指導等の取組を支援します。</p>	<p>森林・林業経営課 (224-2564)</p>

政策名、施策名及び事業の内容	担当課・ 電話番号
<p>〈施策名：(314) 水産業の振興〉</p> <p>1 漁業取締事業費 25,163千円 【(31401) 水産資源の維持・増大と競争力のある養殖業の構築】 (第6款 農林水産業費 第5項 水産業費 3漁業取締費) 漁業秩序を維持するため、関係機関と連携しながら、漁業取締業務を実施するとともに、漁業取締船の機能の維持管理を行います。</p> <p>2 地域漁業協業化・法人化モデル構築支援事業費 207千円 【(31402) 多様な担い手の確保・育成と経営力の強化】 (第6款 農林水産業費 第5項 水産業費 11水産業経営対策費) 漁村地域において2つ以上の漁業種類の経営体が協業、法人化を進める取組等に対して、中小企業診断士、社会保険労務士、税理士といった専門家等を派遣し、事業計画の作成、協業化・法人化に必要な手続き等の指導・助言を行います。</p> <p>3 漁業共済推進事業費 17,828千円 【(31402) 多様な担い手の確保・育成と経営力の強化】 (第6款 農林水産業費 第5項 水産業費 11水産業経営対策費) 異常気象などによって漁業者が受ける損失を補てんする漁業共済への加入を促進するとともに、発生が予測できない赤潮による損失に備え、養殖共済の赤潮特約に係る掛け金の一部を補助します。</p> <p>4 伊勢湾アサリ漁業環境基盤整備事業費 119,937千円 【(31403) 災害に強く生産性が高い水産基盤の整備と活力ある漁村の構築】 (第6款 農林水産業費 第5項 水産業費 6水産基盤整備費) 伊勢湾のアサリ資源の復活に向けた取組を支援するため、伊勢湾での作濎および干潟造成を行うとともに、アサリ稚貝の移殖マニュアルの普及・啓発に取り組みます。</p> <p>5 強い水産業づくり施設整備事業費 45,324千円 【(31403) 災害に強く生産性が高い水産基盤の整備と活力ある漁村の構築】 (第6款 農林水産業費 第5項 水産業費 1水産業振興費) 水産業の生産性を高めるため、漁協等が行う共同利用施設等の整備への支援を行います。</p>	<p>漁業環境課 (224-2582)</p> <p>水産資源・経営課 (224-2522)</p> <p>漁業環境課 (224-2582)</p> <p>水産基盤整備課 (224-2598)</p> <p>水産基盤整備課 (224-2598)</p>

政策名、施策名及び事業の内容	担当課・ 電話番号
<p>6 水産多面的機能発揮対策事業費 8,958千円 【(31403) 災害に強く生産性が高い水産基盤の整備と活力ある漁村の構築】 (第6款 農林水産業費 第5項 水産業費 6水産基盤整備費) 漁業者を中心にした活動組織が取り組む藻場・干潟の保全等の活動を支援するとともに、県内外の優良な取組事例を収集し、成果報告会等の場において、県内活動組織間で情報共有を図ります。</p>	<p>水産基盤整備課 (224-2598)</p>
<p>7 内水面域振興活動推進事業費 1,487千円 【(31403) 災害に強く生産性が高い水産基盤の整備と活力ある漁村の構築】 (第6款 農林水産業費 第5項 水産業費 5資源管理費) 内水面資源の維持・増大を図るため、内水面漁連が行う稚アユ放流や漁業被害をもたらすカワウ駆除等への支援を行います。</p>	<p>漁業環境課 (224-2582)</p>

政策名、施策名及び事業の内容	担当課・ 電話番号
<p>《政策名：暮らしの安全を守る》</p> <p>〈施策名：(145) 食の安全・安心の確保〉</p> <p>1 農作物等適正管理推進事業費 19,870千円 【(14502) 農畜水産物の安全・安心の確保】 (第6款 農林水産業費 第1項 農業費 12 農業経営対策費) 病害虫の発生時期・発生量等の予測情報や防除技術の普及、新病害虫の感染拡大防止に取り組むとともに、堆肥などの活用による土づくりの促進、土壌の適正管理の推進等を行うことにより、安全・安心で環境にやさしい農業生産体制の構築を進めます。</p> <p>2 消費者に安心される養殖水産物の生産体制整備事業費 1,372千円 【(14502) 農畜水産物の安全・安心の確保】 (第6款 農林水産業費 第5項 水産業費 1 水産業振興費) 水産物の安全・安心の確保を図るため、新規疾病を含む魚病診断や水産用医薬品の残留検査等の養殖衛生管理指導に加え、水産関係団体等と連携した貝毒検査を実施します。</p>	<p>農産園芸課 (224-2547)</p> <p>水産資源・経営課 (224-2522)</p>

政策名、施策名及び事業の内容	担当課・ 電話番号
<p>《政策名：地域の活力の向上》</p> <p>〈施策名：(254) 移住の促進〉</p> <p>1 移住促進に向けた農山漁村魅力発信事業費 381千円</p> <p style="text-align: center;">【(25402) 移住受入体制の充実】</p> <p>(第6款 農林水産業費 第3項 農地費 7 中山間振興費)</p> <p>農林漁業体験民宿等や市町担当者間でのノウハウの共有を進め、移住希望者のニーズに合わせた受入れが継続的に行える体制を構築します。また、これら各地の取組を都市部において情報発信します。</p>	<p>農山漁村づくり 課 (224-2551)</p>

令和2年度当初予算 債務負担行為（新規）一覧表（農林水産部関係）

1. 一般会計

番号	事項	期間	限度額
1	農業経営近代化資金利子補給契約	令和3年度～令和22年度	融資総額1,200,000千円を限度として年利率1.30%以内で利子補給する。
2	天災融資法に係る資金利子補給契約	令和2年度～令和9年度	融資総額40,000千円を限度として年利率3.0%以内で利子補給する。
3	天災融資法に係る損失補償契約	令和2年度～令和9年度	融資総額40,000千円を限度として融資機関が被る損失の50%を限度として損失補償する。
4	農業経営改善促進資金利子補給契約	令和3年度	融資総額400,000千円を限度として年利率4.0%以内で利子補給する。
5	農業者の経営支援に係る農林漁業セーフティネット資金利子助成契約	令和3年度～令和8年度	融資総額400,000千円を限度として貸付当初5年間に限り年利率0.5%以内で利子助成する。
6	CSF緊急対策資金利子補給契約	令和3年度	融資総額140,000千円を限度として年利率1.0%以内で利子補給する。
7	家畜疾病経営維持資金利子補給契約	令和3年度～令和9年度	融資総額80,000千円を限度として年利率1.50%以内で利子補給する。
8	公益財団法人三重県農林水産支援センターが公益社団法人全国農地保有合理化協会から借り入れる担い手支援資金に係る損失補償契約	令和2年度～令和12年度	71,234千円 外に約定に基づく延滞金及び違約金相当額
9	農業技術高度化研究開発事業検査機器等リース契約	令和3年度～令和6年度	4,100千円
10	県営かんがい排水事業(宮川4工区地区)に係る契約	令和3年度	157,500千円
11	県営ため池等整備事業(砂方池地区)に係る契約	令和3年度	63,000千円
12	基幹土地改良施設防災機能拡充保全事業(木曾岬2期地区)に係る契約	令和3年度	400,000千円
13	みえ森林・林業アカデミー拠点整備事業 新校舎の設計に係る契約	令和3年度	18,480千円
14	三重県民の森の指定管理に係る協定	令和2年度～令和7年度	120,540千円
15	三重県上野森林公園の指定管理に係る協定	令和2年度～令和7年度	137,815千円
16	漁業近代化資金利子補給契約	令和3年度～令和25年度	融資総額1,300,000千円を限度として年利率2.0%以内で利子補給する。
17	漁業経営維持安定資金利子補給契約	令和3年度～令和20年度	融資総額100,000千円を限度として年利率2.0%以内で利子補給する。
18	漁業経営改善促進資金利子補給契約	令和3年度	融資総額20,000千円を限度として年利率3.0%以内で利子補給する。
19	真珠養殖業者の経営支援に係る農林漁業セーフティネット資金利子助成契約	令和3年度～令和13年度	融資総額300,000千円を限度として年利率0.5%以内で利子助成する。
20	漁業近代化資金等保証料助成契約	令和3年度～令和13年度	融資総額400,000千円を限度として年率1.0%以内で保証料を助成する。

三重県民の森指定管理者制度活用の方針

1 指定管理者制度の活用にあたっての基本的事項

(1) 指定管理者制度活用の目的（期待する効果）

県では、三重県民の森（以下「県民の森」という。）の管理について、民間企業やNPO団体等が持つノウハウの活用や柔軟なサービスの提供を図ることにより、より一層のサービス向上及び経費削減を図るとともに、県が目指す施策の実現に寄与するため、指定管理者制度を活用します。

(2) 施設の設置目的（役割）

県民の森は、県民の心身の健康の増進及び森林環境教育の振興に寄与することを目的として設置しています。

(3) 施設運営の基本的な方向性（運営方針）

県民が豊かな自然に親しみ、ふれあうことのできるよう、適切な維持管理を行っていくとともに、森林及び自然環境に関する学習の機会を提供するため自然体験型イベントを定期的開催することで、森林環境教育及び自然とのふれあい活動、生物多様性の保全の拠点施設として、より効果的な管理運営を図っていきます。

(4) 施設の概要

ア 施設の名称	三重県民の森
イ 所在地	三重郡菰野町大字千草字西貝石 7181-3
ウ 構造規模	
敷地面積	445,836 m ²
自然学習展示館	RC造平屋建 (419.9 m ²)
ふれあいの館	木造平屋建 (218.8 m ²)
休憩舎	木造 8棟
公衆便所	RC造 1棟、CB造 1棟、木造 2棟
展望台テラス	木造 (64.8 m ²)
芝生広場	31,537 m ²
遊歩道	6,437m
駐車場	4箇所
遊具	29基

(5) 指定管理者が行う業務の範囲（業務内容、要求水準、成果目標）

指定管理者が行う業務の具体的な内容は、次のとおりです。

なお、指定管理者が業務の遂行にあたり、県民に提供していくサービスの水準を確保するため、個々の業務区分ごとに具体的な「要求水準」を募集要項の中で定めるとともに、業務の質の向上を図るため、次の「成果目標」を定めることを予定しています。

ア 業務の内容

(ア) 県民の森の森林、植物等の管理に関する業務

- (イ) 県民の森の施設や設備の維持管理及び修繕に関する業務
- (ウ) 県民の森の施設や設備の利用に関する業務
- (エ) 自然体験型イベントの実施に関する業務
- (オ) ホームページ等による県民の森内の自然情報やイベント情報の提供に関する業務
- (カ) 生物多様性の保全へ配慮した取り組みに関する業務
- (キ) その他県民の森の管理運営上必要と認める業務

イ 成果目標

- (ア) 来園者数 毎年度 13.3 万人
- (イ) 満足度
 - ・施設利用者の満足度 80%以上
 - ・自然体験型イベント参加者の満足度 92%以上

(6) 利用料金制採用の考え方

県民の森は、できる限り多くの県民に利用していただき、自然環境に関する知識の向上や森林環境教育を自由に行うため、利用料金制度を採用せず、無料の施設とします。

(7) 指定の期間（予定）

指定の期間は、指定管理者制度に関する取扱要綱第4条に基づき、令和3年4月1日から令和8年3月31日までの5年間を予定しています。

(8) 指定管理者に支払う施設管理経費の上限額

指定期間中における指定管理料の総額は、次に示す額を上限とします。
 指定管理料の総額 120,540 千円（5年間）（消費税及び地方消費税を含む）

2. 指定管理者の募集及び選定等に関する事項

(1) 募集の方法

県民の森では、広く民間のノウハウを活用し、より一層の効果的・効率的な管理運営を図るため、指定管理者を公募により選定する予定です。

(2) 選定委員会の構成と委員選定の視点

指定管理候補者の選定にあたり、その選定過程や手続きの透明性・公正性を高めていくため、県職員以外の有識者等で構成する「三重県民の森指定管理者選定委員会（以下「選定委員会」という。）」を設置します。

選定委員会は、学識、経験、男女比などを考慮した上、弁護士、公認会計士、経営及び設置目的に関する有識者、施設利用代表者・地域住民代表者（公募により選定）などによる計5～10名の民間委員で構成することを予定しています。

(3) 審査方法及び審査基準等の考え方

選定委員会では、応募者から提出された事業計画書等についてヒアリングを実施

した上で、次の選定基準等に基づき総合的な審査を行います。

県は、選定委員会の審査結果を踏まえ、最適と認められる団体を指定管理者の候補者として選定します。

[選定基準]

- ①事業計画の内容が、県民の平等な利用を確保することができるものであること。
- ②事業計画の内容が、施設等の適切な維持管理を図ることができるものであること。
- ③事業計画の内容が、施設の効用を最大限発揮できるものであり、県民サービスの向上を図ることができるものであること。
- ④事業計画の内容が、施設等の管理に係る経費の縮減を図るものであること。
- ⑤指定を受けようとするものが、事業計画に沿った管理を安定して行うために必要な人員及び財政的基礎を有していること。

なお、詳細な審査基準、配点については、選定委員会で決定します。

3 今後の日程に関する事項

令和2年	6月	第1回選定委員会の開催（審査基準、配点表を決定）
	7月	募集を開始（9月上旬まで）
	9月	三重県議会定例会9月定例会月会議（環境生活農林水産常任委員会） へ指定管理候補者の選定状況を報告
	10月	第2回選定委員会（選定委員会によるヒアリングの実施） 第3回選定委員会（選定委員会による最終審査・順位の決定）
	11月	指定管理候補者の決定 三重県議会定例会11月定例会月会議へ指定管理者指定議案を提出
令和3年	1月	指定管理者の指定
	3月	指定管理者と協定を締結
	4月	指定管理者による施設管理を開始

三重県上野森林公園指定管理者制度活用の方針

1 指定管理者制度の活用にあたっての基本的事項

(1) 指定管理者制度活用の目的（期待する効果）

県では、三重県上野森林公園（以下「森林公園」という。）の管理について、民間企業やNPO団体等が持つノウハウの活用や柔軟なサービスの提供を図ることにより、より一層のサービス向上及び経費削減を図るとともに、県が目指す施策の実現に寄与するため、指定管理者制度を活用します。

(2) 施設の設置目的（役割）

森林公園は、県民の心身の健康の増進及び森林環境教育の振興に寄与することを目的として設置しています。

(3) 施設運営の基本的な方向性（運営方針）

県民が豊かな自然に親しみ、ふれあうことのできるよう、適切な維持管理を行っていくとともに、森林及び自然環境に関する学習の機会を提供するため自然体験型イベントを定期的を開催することで、森林環境教育及び自然とのふれあい活動、生物多様性の保全の拠点施設として、より効果的な管理運営を図っていきます。

(4) 施設の概要

ア 施設の名称	三重県上野森林公園		
イ 所在地	伊賀市下友生字松ヶ谷1番地		
ウ 構造規模			
敷地面積	436,956	m ²	
森のまなびや（ビクターコテージ）	木造平屋建	(378.3	m ²)
かたらいの館（サブコテージ）	木造平屋建	(75.6	m ²)
風のとりで（展望台）	木造	17.4	m ²
公衆便所	木造	3	棟
休憩舎	木造	9	箇所
花のテラス		1,472	m ²
芝生広場		10,878	m ²
遊歩道		8,225	m
駐車場		2	箇所

(5) 指定管理者が行う業務の範囲（業務内容、要求水準、成果目標）

指定管理者が行う業務の具体的な内容は、次のとおりです。

なお、指定管理者が業務の遂行にあたり、県民に提供していくサービスの水準を確保するため、個々の業務区分ごとに具体的な「要求水準」を募集要項の中で定めるとともに、業務の質の向上を図るため、次の「成果目標」を定めることを予定しています。

ア 業務の内容

(ア) 森林公園の森林、植物等の管理に関する業務

- (イ) 森林公園の施設や設備の維持管理及び修繕に関する業務
- (ウ) 森林公園の施設や設備の利用に関する業務
- (エ) 自然体験型イベントの実施に関する業務
- (オ) ホームページ等による森林公園内の自然情報やイベント情報の提供に関する業務
- (カ) 生物多様性の保全へ配慮した取り組みに関する業務
- (キ) その他森林公園の管理運営上必要と認める業務

イ 成果目標

- (ア) 来園者数 毎年度 8.2万人
- (イ) 満足度
 - ・施設利用者の満足度 80%以上
 - ・自然体験型イベント参加者の満足度 92%以上

(6) 利用料金制採用の考え方

森林公園は、できる限り多くの県民に利用していただき、自然環境に関する知識の向上や森林環境教育を自由に行うため、利用料金制度を採用せず、無料の施設とします。

(7) 指定の期間（予定）

指定の期間は、指定管理者制度に関する取扱要綱第4条に基づき、令和3年4月1日から令和8年3月31日までの5年間を予定しています。

(8) 指定管理者に支払う施設管理経費の上限額

指定期間中における指定管理料の総額は、次に示す額を上限とします。
 指定管理料の総額 137,815千円（5年間）（消費税及び地方消費税を含む）

2 指定管理者の募集及び選定等に関する事項

(1) 募集の方法

森林公園では、広く民間のノウハウを活用し、より一層の効果的・効率的な管理運営を図るため、指定管理者を公募により選定する予定です。

(2) 選定委員会の構成と委員選定の視点

指定管理候補者の選定にあたり、その選定過程や手続きの透明性・公正性を高めていくため、県職員以外の有識者等で構成する「三重県上野森林公園指定管理者選定委員会（以下「選定委員会」という。）」を設置します。

選定委員会は、学識、経験、男女比などを考慮した上、弁護士、公認会計士、経営及び設置目的に関する有識者、施設利用代表者・地域住民代表者（公募により選定）などによる計5～10名の民間委員で構成することを予定しています。

(3) 審査方法及び審査基準等の考え方

選定委員会では、応募者から提出された事業計画書等についてヒアリングを実施

した上で、次の選定基準等に基づき総合的な審査を行います。

県は、選定委員会の審査結果を踏まえ、最適と認められる団体を指定管理者の候補者として選定します。

[選定基準]

- ①事業計画の内容が、県民の平等な利用を確保することができるものであること。
- ②事業計画の内容が、施設等の適切な維持管理を図ることができるものであること。
- ③事業計画の内容が、施設の効用を最大限発揮できるものであり、県民サービスの向上を図ることができるものであること。
- ④事業計画の内容が、施設等の管理に係る経費の縮減を図るものであること。
- ⑤指定を受けようとするものが、事業計画に沿った管理を安定して行うために必要な人員及び財政的基礎を有していること。

なお、詳細な審査基準、配点については、選定委員会で決定します。

3 今後の日程に関する事項

令和2年	6月	第1回選定委員会の開催（審査基準、配点表を決定）
	7月	募集を開始（9月上旬まで）
	9月	三重県議会定例会9月定例会月会議（環境生活農林水産常任委員会） へ指定管理候補者の選定状況を報告
	10月	第2回選定委員会（選定委員会によるヒアリングの実施） 第3回選定委員会（選定委員会による最終審査・順位の決定）
	11月	指定管理候補者の決定 三重県議会定例会11月定例会月会議へ指定管理者指定議案を提出
令和3年	1月	指定管理者の指定
	3月	指定管理者と協定を締結
	4月	指定管理者による施設管理を開始

2 令和元年度補正予算関係議案について

令和元年度三重県一般会計補正予算（第9号）及び 令和元年度特別会計補正予算 総括表

一般会計総括表

(単位：千円)

区 分	補正前の 予算額	補正額	補正後の 予算額
一般会計	39,896,796	▲2,993,159	36,903,637
農林水産業費	37,616,020	▲1,269,765	36,346,255
災害復旧費	2,280,776	▲1,723,394	557,382

一般会計事業別総括表

(単位：千円)

区 分	補正前の 予算額	補正額	補正後の 予算額
一般会計	39,896,796	▲2,993,159	36,903,637
非公共事業	18,372,379	▲1,057,000	17,315,379
公共事業	21,524,417	▲1,936,159	19,588,258
国補公共事業	15,635,378	▲114,070	15,521,308
直轄事業	985,237	▲33,321	951,916
県単公共事業	2,015,526	▲5,068	2,010,458
受託公共事業	628,500	▲60,306	568,194
災害復旧事業	2,259,776	▲1,723,394	536,382

特別会計総括表

(単位：千円)

区 分	補正前の 予算額	補正額	補正後の 予算額
特別会計	1,321,939	▲88,756	1,233,183
就農施設等資金貸付事業等	97,601	▲134	97,467
地方卸売市場事業	250,480	▲8,612	241,868
林業改善資金貸付事業	618,276	▲79,968	538,308
沿岸漁業改善資金貸付事業	355,582	▲42	355,540

令和元年度三重県一般会計補正予算（第9号） 主要項目一覧表
 （補正額1千万円以上の事業）

非公共事業

（単位：千円）

項	目	事業名	補正前の 予算額	補正額	補正後の 予算額	補正の概要	
農業費	振興費 農業	みえフードイノベーション総合推進事業費	74,058	▲ 53,604	20,454	事業計画の変更等による減額	
	担い手 対策費 農林漁業	新規就農者総合支援事業費	224,929	▲ 40,902	184,027	事業精査による減額	
	農作物 対策費	園芸特産物生産振興対策事業費	274,696	▲ 137,091	137,605	事業計画の変更等による減額	
		産地パワーアップ事業費	532,554	▲ 50,000	482,554	事業計画の変更等による減額	
	農林漁業 経営 体 育成費	農業経営基盤強化促進事業費	193,673	▲ 116,324	77,349	事業精査による減額	
		農用地利用集積特別対策事業費	127,726	▲ 85,826	41,900	事業精査による減額	
		農地中間管理機構事業費	167,217	▲ 25,746	141,471	事業精査による減額	
	畜産業費	家畜保健衛生費	家畜衛生防疫事業費	871,231	▲ 12,601	858,630	事業精査による減額
			家畜衛生危機管理体制維持事業費	368,866	▲ 77,917	290,949	事業精査による減額
農地費	調整費 農地	農業委員会交付金等事業費	197,895	▲ 34,018	163,877	事業精査による減額	
林業費	指導費 林業振興	林業・木材産業構造改革事業費	427,940	▲ 361,198	66,742	事業計画の変更等による減額	
	緑化 対策費	みえ森と緑の県民税基金積立金	1,090,828	32,051	1,122,879	基金積立金の増に伴う増額	
		森を育む人づくりサポート体制整備事業費	65,952	▲ 10,445	55,507	事業精査による減額	
	総務費 森林	新たな森林経営管理体制支援事業費	47,347	▲ 12,837	34,510	事業精査による減額	
水産業費	取締費 漁業	漁業取締船整備費	44,254	▲ 10,000	34,254	事業精査による減額	

令和元年度三重県一般会計補正予算（第9号） 主要項目一覧表
 （補正額1千万円以上の事業）

公共事業

（単位：千円）

項	目	事業名	補正前の 予算額	補正額	補正後の 予算額	補正の概要
農地費	改良費 土地	高度水利機能確保基盤整備事業費	2,345,216	14,599	2,359,815	事業精査による増額 （四日市市、鈴鹿市、津市、松阪市、伊勢市、多気町）
	推進費 国営等	国営等関連対策事業費	985,237	▲ 33,321	951,916	事業精査による減額 （津市、伊勢市、名張市、亀山市、伊賀市、多気町、明和町、大台町、玉城町）
林業費	造林費	造林事業費	428,052	▲ 18,712	409,340	事業精査による減額 （県内一円）
	林道費	林道事業費	411,764	▲ 10,959	400,805	事業精査による減額 （津市、いなべ市、亀山市、松阪市、大台町、南伊勢町、伊賀市、紀宝町 ほか）
水産業費	水産基盤整備費	県営漁港海岸保全事業費	354,196	▲ 40,105	314,091	事業精査による減額 （津市、明和町）
		広域漁場整備事業費	21,000	▲ 11,288	9,712	事業精査による減額 （志摩市～紀宝町）
		市町営農山漁村地域整備事業費（水産基盤整備）	276,100	▲ 18,085	258,015	事業精査による減額 （熊野市）
		県営受託漁港海岸保全事業費	618,000	▲ 55,056	562,944	事業精査による減額 （紀北町）
		県営水産生産基盤整備事業費	694,107	▲ 12,025	682,082	事業精査による減額 （大紀町、鳥羽市、志摩市）
		海女漁業等環境基盤整備事業費	581,582	28,133	609,715	事業精査による増額 （志摩市、熊野市、御浜町、紀宝町）

令和元年度三重県一般会計補正予算（第9号） 主要項目一覧表
 （補正額1千万円以上の事業）

公共事業

（単位：千円）

項	目	事業名	補正前の 予算額	補正額	補正後の 予算額	補正の概要
農林水産施設災害復旧費	耕地災害 復旧費	団体営災害耕地復旧事業費（平成31年災）	1,052,893	▲ 784,627	268,266	災害査定による減額 （県内全市町）
	林野災害復旧費	林道施設災害復旧事業費（平成29年災）	61,000	▲ 52,900	8,100	事業精査による減額 （度会町）
		林道施設災害復旧事業費（平成31年災）	599,450	▲ 511,932	87,518	災害査定による減額 （桑名市、伊勢市、熊野市、いなべ市、志摩市、菟野町、多気町、度会町、大紀町、紀北町、森林組合おわせ）
		治山施設災害復旧事業費（平成31年災）	94,500	▲ 94,500	0	災害の発生がなかったことによる減額
	漁港災害復旧費	県営漁港施設等災害復旧事業費（平成30年災）	29,400	▲ 11,142	18,258	事業精査による減額 （志摩市、南伊勢町）
		県営漁港施設等災害復旧事業費（平成31年災）	182,700	▲ 182,700	0	災害の発生がなかったことによる減額
	（海岸災害） 復旧費	県営海岸保全施設等災害復旧事業費（平成31年災）	79,120	▲ 79,120	0	災害の発生がなかったことによる減額

令和元年度三重県一般会計補正予算（第9号）繰越明許費

繰越明許費

(単位：千円)

科 目	補正前の額	補正額 (変更・追加)	補正後の額
一般会計	6,528,145	7,039,441	13,567,586
農林水産業費	6,528,145	6,582,467	13,110,612
農業費	0	15,000	15,000
畜産業費	0	153,644	153,644
農地費	3,874,167	3,864,989	7,739,156
林業費	912,919	1,931,210	2,844,129
水産業費	1,741,059	617,624	2,358,683
災害復旧費	0	456,974	456,974
農林水産施設災害復旧費	0	435,974	435,974
自然公園等施設災害復旧費	0	21,000	21,000

令和元年度特別会計補正予算 主要項目一覧表
(補正額1千万円以上の事業)

令和元年度三重県林業改善資金貸付事業特別会計補正予算(第2号)

(単位:千円)

項	目	事業名	補正前の 予算額	補正額	補正後の 予算額	補正の概要
林業改善資金貸付事業費	木材産業等高度化 資金貸付事業費	木材産業等高度化推進資金貸付事業費	360,870	▲ 53,304	307,566	資金貸付見込額の減による減額
		農林漁業信用基金償還金	132,857	▲ 26,652	106,205	資金貸付見込額の減に伴う農林漁業信用基金からの借入見込額の減による減額

【議案補充説明】

3 議案第 31 号「三重県手数料条例の一部を改正する条例案」（関係分）

1 改正理由

「肥料取締法」の一部改正に伴い、肥料登録手数料等についての規定を整理するものです。

2 条例改正の概要

「肥料取締法」が一部改正され、農業者のニーズに柔軟に対応した肥料生産の推進等を目的に、令和 2 年 12 月から施行される予定です。

この改正に伴い、肥料登録手数料等に変更は生じませんが、法律名称が「肥料の品質の確保等に関する法律」に改められたことなどから、法律の施行に合わせて、条例中の法律名称等を変更します。

3 施行期日

法律の施行の日から施行

議案第三十一号

三重県手数料条例の一部を改正する条例案（農林水産部関係抜粋）
右提出する。

令和二年二月十七日

三重県知事 鈴木英敬

三重県手数料条例の一部を改正する条例

三重県手数料条例（平成十二年三重県条例第四号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に傍線で示すように改正する。

改正後		改正前	
別表第一（第二条関係）	別表第一（第二条関係）	別表第一（第二条関係）	別表第一（第二条関係）
項	手数料を徴収する事務	手数料の名称	手数料の金額
一、 二百 十二	(略)	(略)	(略)
二百 十三	肥料の品質の確保等に 関する法律 (昭和二十 五年法律第 百二十七号) 第四条第一 項又は第三 項の規定に 基づく肥料 の登録	肥料登録 手数料	肥料の品質の確保 等に 関する法律第 四 条第一 項第六号 の肥料に 係るもの にあつて は一万八 千円、同 項第七号 の肥料に 係るもの にあつて は三万五 千円
二百 十四	肥料の品質の確保等に 関する法律 第十二条第 二項の規定 に基づく肥 料の登録の 更新	肥料登録 手数料	肥料の品質の確保 等に 関する法律第 四 条第一 項第六号 の肥料に 係るもの にあつて は三万五 千円
一、 二百 十二	(略)	(略)	(略)
二百 十三	肥料取縮法 (昭和二十 五年法律第 百二十七号) 第四条第一 項又は第二 項の規定に 基づく肥料 の登録	肥料取縮 手数料	肥料取縮 法第四 条第一 項第六号 の肥料に 係るもの にあつて は一万八 千円、同 項第七号 の肥料に 係るもの にあつて は三万五 千円
二百 十四	肥料取縮法の 第十二条第 二項の規定 に基づく肥 料の登録の 更新	肥料取縮 手数料	肥料取縮 法第四 条第一 項第六号 の肥料に 係るもの にあつて は三万五 千円

【議案補充説明】

4 議案第 33 号「三重県家畜保健衛生所手数料条例の一部を改正する条例案」

1 改正理由

「家畜伝染病予防法」の一部改正に伴い、「三重県家畜保健衛生所手数料条例」の規定を整理するものです。

2 条例改正の概要

「家畜伝染病予防法」の一部改正により、同法で定める「豚コレラ」の名称が「豚熱」に改められたことから、条例中の当該名称を変更します。

3 施行期日

公布の日から施行

議案第三十三号

三重県家畜保健衛生所手数料条例の一部を改正する条例案

右提出する。

令和二年二月十七日

三重県知事 鈴木英敬

三重県家畜保健衛生所手数料条例の一部を改正する条例

三重県家畜保健衛生所手数料条例(昭和五十三年三重県条例第二十七号)の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に傍線で示すように改正する。

改正後		改正前	
別表第一(第二条関係)	手数料の額	別表第一(第二条関係)	手数料の額
一 (略)	(略)	一 (略)	(略)
二 法第六条第一項又は第三十一条第一項の規定に基づく家畜の注射、薬浴又は投薬		二 法第六条第一項又は第三十一条第一項の規定に基づく家畜の注射、薬浴又は投薬	
イ 予防注射		イ 予防注射	
(イ) (略)	(略)	(イ) (略)	(略)
(ニ) (略)	(略)	(ニ) (略)	(略)
(ホ) 豚熱	一頭につき 二二〇円	(ホ) 豚コレラ	一頭につき 二二〇円
(ハ) (略)	(略)	(ハ) (略)	(略)
(ト) 豚熱及び豚丹毒(同時注射)	五〇頭までの場合 一頭につき 三八〇円 百頭までの場合 一頭につき 三三〇円 百一頭以上の場合 一頭につき 三〇〇円	(ト) 豚コレラ及び豚丹毒(同時注射)	五〇頭までの場合 一頭につき 三八〇円 百頭までの場合 一頭につき 三三〇円 百一頭以上の場合 一頭につき 三〇〇円
(チ) 豚熱及び豚丹毒(混合注射)	一頭につき 二九〇円	(チ) 豚コレラ及び豚丹毒(混合注射)	一頭につき 二九〇円
(リ) (略)	(略)	(リ) (略)	(略)
ロ・ハ (略)	(略)	ロ・ハ (略)	(略)
三 (略)	(略)	三 (略)	(略)

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

提案理由

家畜伝染病予防法の一部改正に伴い、規定を整理する必要がある。これが、この議案を提出する理由である。

農林水産関係建設事業に対する市町の負担について

令和2年度において県の行う農林水産関係建設事業に要する経費に充てるため、土地改良法（昭和24年法律第195号）第91条第6項及び地方財政法（昭和23年法律第109号）第27条第1項の規定により、市町負担金を次のとおり徴収するものとする。

令和2年2月17日提出

三重県知事 鈴木英敬

事業名	区分	市町名	負担率
県営かんがい排水事業	一般型	伊勢市	(幹線に係るもの) 工事費の100分の15 (支線に係るもの) 工事費の100分の8.333
		多気町	工事費の100分の12.507
		玉城町	工事費の100分の2.493
	一般型(中山間地域等)	伊勢市	(田丸地区) 工事費の100分の7.215 (有爾中・明星地区) 工事費の100分の0.056

		多気町	工事費の 100 分の 0.108
		明和町	(斎宮第 2 地区) 工事費の 100 分の 12.392 (有爾中・明星地区の明星 2 号線の場合) 工事費の 100 分の 12.444 (有爾中・明星地区の中村池線の場合) 工事費の 100 分の 12.5
		玉城町	工事費の 100 分の 5.285
		大紀町	工事費の 100 分の 20
県営水環境整備事業	地域用水環境整備事業	明和町 玉城町	工事費の 100 分の 25
基幹農業水利施設ストックマネジメント事業	基幹農業水利施設ストックマネジメント事業 (法律補助)	津市	工事費の 100 分の 12.5

		松阪市	(三雲地区) 工事費の100分の25 (一志南部用水地区) 工事費の100分の17.5
		名張市	(青蓮寺用水2期地区) 工事費の100分の2.625 (宇陀川用水地区) 工事費の100分の12.5
		いなべ市	工事費の100分の7.175
		伊賀市	(青蓮寺用水2期地区) 工事費の100分の9.875 (滝谷用水地区) 工事費の100分の12.5
		東員町	(六把野井水地区) 工事費の100分の1.15 (神田3期地区) 工事費の100分の20

	基幹農業水利施設ストックマネジメント事業（法律補助）（中山間地域等）	松阪市	工事費の 100 分の 14
		明和町	工事費の 100 分の 10
	基幹農業水利施設ストックマネジメント事業（予算補助）	名張市	工事費の 100 分の 5.25
		伊賀市	(青蓮寺用水 3 期地区) 工事費の 100 分の 19.75 (滝谷支線用水地区及び服部川沿岸 3 期地区) 工事費の 100 分の 25
		東員町 菰野町	工事費の 100 分の 25
	高度水利機能確保基盤整備事業	一般型、農業生産法人等育成型、面的集積型	津市

	一般型、農業生産法人等育成型、面的集積型（中山間地域等）	鈴鹿市	(鈴鹿川沿岸6期地区及び鈴鹿川沿岸8期地区) 工事費の100分の19 (徳田地区) 工事費の100分の11.25
		伊勢市	(小俣地区の幹線用水路の場合) 工事費の100分の10 (小俣地区の支線用水路の場合) 工事費の100分の3.15 (農道の場合) 工事費の100分の17.5 (宮川左岸地区の幹線用水路の場合) 工事費の100分の4.888 (宮川左岸地区の支線用水路の場合) 工事費の100分の1.8682
		松阪市	(朝見上地区及び北谷地区) 工事費の100分の12.25 (寺井地区) 工事費の100分の17.5
		多気町	工事費の100分の12.25

		明和町	(幹線用水路の場合) 工事費の 100 分の 10 (支線用水路及び暗渠の場合) 工事費の 100 分の 8.75 (農道の場合) 工事費の 100 分の 17.5
		玉城町	(幹線用水路の場合) 工事費の 100 分の 5.112 (宮川左岸第二土地改良区の区域内の支線用水路の場合) 工事費の 100 分の 1.4242 (宮古土地改良区の区域内の支線用水路の場合) 工事費の 100 分の 3.5
	一般型、農業生産法人等育成型、面的集積型（営農環境整備事業）（中山間地域等）	松阪市	工事費の 100 分の 17.5
	農地中間管理機構関連農地整備事業	多気町 紀北町	工事費の 100 分の 10
	実施計画策定（競争力強化農地整備事業）	鈴鹿市	工事費の 100 分の 22.5

	実施計画策定（農地中間管理機構関連農地整備事業）	鈴鹿市 伊賀市	工事費の100分の10
県営ため池等整備事業	ため池等整備（一般型）	津市	工事費の100分の9
	ため池等整備（地震対策ため池防災工事）	津市 伊勢市 松阪市 桑名市 亀山市 いなべ市 伊賀市 菰野町 紀北町 御浜町	工事費の100分の10
	用排水施設整備	いなべ市	工事費の100分の4
	農業用河川工作物応急対策	津市 伊勢市 松阪市 度会町	工事費の100分の8

	農道防災対策	伊賀市	工事費の 100 分の 13
農業用施設アスベスト対策事業		伊勢市	工事費の 100 分の 2.426
		松阪市	工事費の 100 分の 7
		玉城町	工事費の 100 分の 2.574
基幹土地改良施設防災機能拡充保全事業	湛水防除事業（ゼロメートル地帯）	桑名市 木曾岬町	工事費の 100 分の 10
	湛水防除事業	松阪市 志摩市	工事費の 100 分の 10

県営中山間地域総合整備事業	一般型（農業生産基盤整備）	熊野市	(農地保全施設に係る工事請負費) 工事費の100分の7.5 (ほ場整備に係る工事請負費及び換地経費) 工事費の100分の10 (農地保全施設及びほ場整備に係る上記以外のもの) 工事費の100分の15 (農業用用水・排水施設、農道及び農地防災に係るもの) 工事費の100分の15
		志摩市 紀北町 紀宝町	工事費の100分の15
		御浜町	(農業用排水施設、農道及び農地防災に係るもの) 工事費の100分の15
	広域連携型（農業生産基盤整備）	多気町	工事費の100分の19
	広域連携型（農業生産基盤整備）（中山間地域等）	多気町	工事費の100分の9
		大台町	工事費の100分の10

	一般型（農村生活環境整備）	熊野市 志摩市 紀北町 御浜町 紀宝町	工事費の 100 分の 15
	広域連携型（農村生活環境整備）	多気町	工事費の 100 分の 25
	広域連携型（農村生活環境整備）（中山間地域等）	多気町 大台町	工事費の 100 分の 15
県営農村振興総合整備事業	農業生産基盤整備	名張市	工事費の 100 分の 12.5
		伊賀市	（農業用排水施設） 工事費の 100 分の 12.5 （農地保全） 工事費の 100 分の 16 （農道） 工事費の 100 分の 25
	農村生活環境整備	名張市 伊賀市	工事費の 100 分の 25

命と暮らしを守る農道保全対策事業	基幹農道整備事業	志摩市 多気町	工事費の30分の7
	広域農道整備事業	名張市 伊賀市	工事費の100分の15
	一般農道整備事業	玉城町	工事費の100分の25
林道事業	森林基幹道（県営）	津市	工事費の100分の17.5
県営水産生産基盤整備事業	離島 第2種 漁港施設	鳥羽市	工事費の60分の5
県営漁港施設機能強化事業	本土 第3種 漁港施設	志摩市	工事費の100分の10
備考	過疎地域自立促進特別措置法（平成12年法律第15号）第14条第1項、山村振興法（昭和40年法律第64号）第11条第1項及び半島振興法（昭和60年法律第63号）第11条第1項の規定により県の行う事業については、この表の規定にかかわらず、負担金を徴収しない。		

提案理由

農林水産関係建設事業に対する市町の負担については、土地改良法第91条第6項において準用する同法第90条第10項及び地方財政法第27条第2項の規定に基づき議会の議決を要する。これが、この議案を提出する理由である。

農林水産関係建設事業に対する市町の負担について

令和元年度において県の行う農林水産関係建設事業に要する経費に充てるため、土地改良法（昭和24年法律第195号）第91条第6項及び地方財政法（昭和23年法律第109号）第27条第1項の規定により、市町負担の金額を次のとおり定めるものとする。

令和2年3月3日提出

三重県知事 鈴木 英 敬

事業名	区分	市町名	負担額
県営かんがい排水事業	一般型	伊勢市	50,250,000
		多気町	12,131,790
		玉城町	2,418,210
県営かんがい排水事業	一般型（中山間地域等）	伊勢市	3,260,750
		多気町	59,400
		明和町	17,426,600
		玉城町	2,378,250
県営水環境整備事業	地域用水環境整備事業	明和町	3,177,750
		玉城町	7,322,250

円

基幹農業水利施設ストックマネジメント事業	基幹農業水利施設ストックマネジメント事業（法律補助）	津市 松阪市 名張市 いなべ市 伊賀市 東員町	30,000,000 26,000,000 12,489,000 2,439,000 16,031,000 8,371,000
	基幹農業水利施設ストックマネジメント事業（法律補助）（中山間地域等）	松阪市 明和町	4,859,400 10,329,000
	基幹農業水利施設ストックマネジメント事業（予算補助）	名張市 伊賀市 菰野町	1,365,000 6,395,000 15,000,000
高度水利機能確保基盤整備事業	一般型、農業生産法人等育成型、面的集積型	津市 鈴鹿市	4,975,000 100,693,840
	一般型、農業生産法人等育成型、面的集積型（中山間地域等）	伊勢市 松阪市 多気町 明和町 玉城町	12,312,880 88,243,750 4,532,500 2,350,000 15,035,080

	一般型、農業生産法人等育成型、面的集積型（営農環境整備事業）（中山間地域等）	松阪市	9,100,000
	農地中間管理機構関連農地整備事業	多気町	19,000,000
	実施計画策定（競争力強化農地整備事業）	松阪市	4,482,000
	実施計画策定（農地中間管理機構関連農地整備事業）	多気町 紀北町	600,000 1,300,000
県営ため池等整備事業	ため池等整備（一般型）	津市	6,300,000
	ため池等整備（地震対策ため池防災工事）	津市 伊勢市 松阪市 桑名市 亀山市 いなべ市 菰野町 紀北町	46,000,000 6,000,000 2,500,000 15,000,000 400,000 6,236,400 16,200,000 4,700,000

	用排水施設整備	いなべ市	1,660,000
	農業用河川工作物応急対策	津市 伊勢市 松阪市 度会町	4,800,000 1,992,000 1,920,000 11,840,000
農業用施設アスベスト対策事業		伊勢市 松阪市 玉城町	10,989,780 4,200,000 11,660,220
基幹土地改良施設防災機能拡充保全事業	湛水防除事業（ゼロメートル地帯）	桑名市 木曾岬町	3,750,000 15,495,000
	湛水防除事業	松阪市 志摩市	55,700,000 44,500,000
県営中山間地域総合整備事業	一般型（農業生産基盤整備）	熊野市 志摩市 御浜町	2,475,000 23,306,550 8,700,000

	広域連携型（農業生産基盤整備）（中山間地域等）	多気町 大台町	7,732,350 5,168,500
	一般型（農村生活環境整備）	志摩市 御浜町 紀宝町	9,828,450 1,500,000 64,125,000
県営農村振興総合整備事業	農業生産基盤整備	名張市 伊賀市	1,675,000 19,639,000
	農村生活環境整備	名張市	2,400,000
命と暮らしを守る農道保全対策事業	基幹農道整備事業	志摩市 多気町	39,666,666 2,333,333
	広域農道整備事業	名張市 伊賀市	14,966,100 22,533,900
	一般農道整備事業	玉城町	13,000,000
林道事業	森林基幹道（県営）	津市	1,855,000

県営水産生産基盤整備事業	離島 第2種 漁港施設	鳥羽市	20,000
	本土 第3種 漁港施設	志摩市	5,855,500
備考	過疎地域自立促進特別措置法（平成12年法律第15号）第14条第1項、山村振興法（昭和40年法律第64号）第11条第1項及び半島振興法（昭和60年法律第63号）第11条第1項の規定により県の行う事業については、この表の規定にかかわらず、負担金を徴収しない。 事業費に減少が生じた場合は、負担割合に応じて負担の金額を減ずることができる。		

提案理由

農林水産関係建設事業に対する市町の負担については、土地改良法第91条第6項において準用する同法第90条第10項及び地方財政法第27条第2項の規定に基づき議会の議決を要する。これが、この議案を提出する理由である。